

## 5年間の事業実施状況

## 第4章 子ども・子育て支援事業計画（全104事業）

	テーマ	5年間総括事業評価			
		A	B	C	D
3	幼児期の学校教育・保育	8		1	
4	地域子ども・子育て支援事業				
	(1) 利用者支援に関する事業	2	1		
	(2) 地域子育て支援拠点事業	2			
	(3) 妊婦健診	4	1		
	(4) 乳児全戸訪問事業	2	1		
	(5) 養育支援訪問事業 子どもを守る地域ネットワーク事業	2			
	(6) 子育て短期支援事業	2			
	(7) ファミリー・サポート・センター事業	1			
	(8) 一時預かり事業（幼稚園・保育園・その他）	2			
	(9) 延長保育事業	1			
	(10) 病児保育事業	1			
	(11) 放課後児童健全育成（放課後児童クラブ）	3			
	(12) 実費徴収に係る補足給付を行う事業	1			
	(13) 多様な事業者の参入促進・能力活用事業	1			
5	幼児期の学校教育・保育の一体的提供	2	1		
6	子どもと保護者の健康の確保・増進	10			
7	子どもの教育とあそび環境の充実	22	9		
8	安心して子どもを産み育てることができる環境整備	8	4		
9	児童虐待の防止	2			1
10	子どもの貧困対策とひとり親家庭の自立支援	7	2		
	計	83	19	1	1

## ■計画期間内に取り組んだ主な新規事業

- ・保育士、幼稚園教諭等の人材確保策の実施(R2開始)
- ・おはようキッズ事業の開始(R2開始)
- ・S・Eスタディ（無料学習会）参加のための移動支援の実施(R2開始)
- ・こどもを対象とする体験活動支援の実施(R2開始)

## ■計画期間内に実施内容を見直した事業

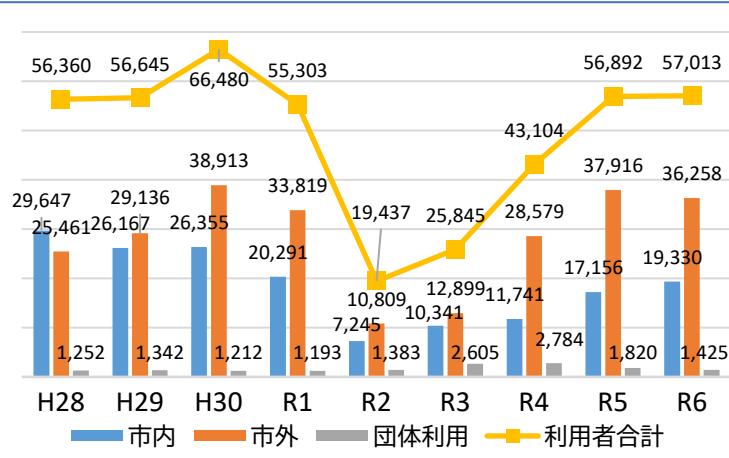
- ・子どもの医療費の助成対象拡大(入院・通院ともに高校生まで、R5.10～)
- ・病後児保育施設(R3終了)  
⇒ファミリー・サポート・センター事業にて病児・病後児保育実施(R4開始)

## ■計画期間内に実施を終了した事業

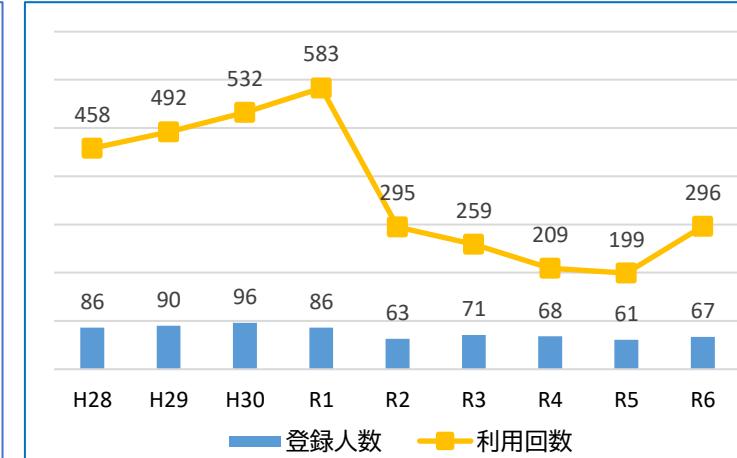
- ・幼児健診事後指導教室(R3終了)
- ・中学校選択制度(R4終了)
- ・S・Eスタディ（無料学習会）参加のための移動支援(R4終了)
- ・こどもサポート「うずら」(R5終了)
- ・ひとり親家庭児童修学援助金(R5終了)
- ・いわみざわ花と緑の少年団事業(R5終了)

## こども・子育ての状況

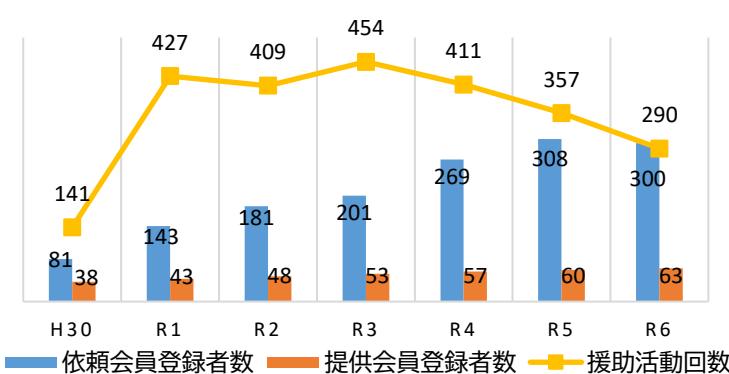
## ■あそびの広場



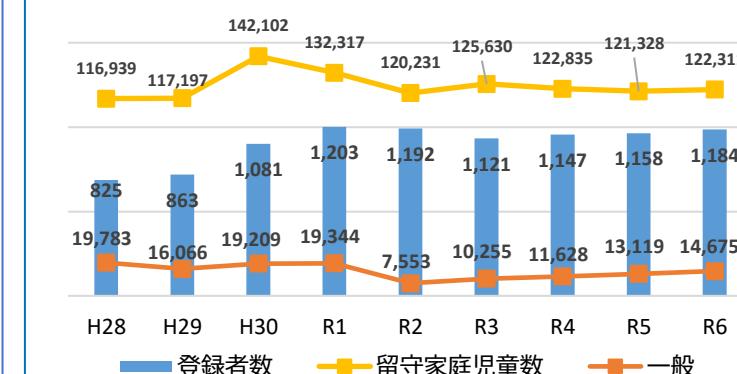
## ■産前産後ヘルパー



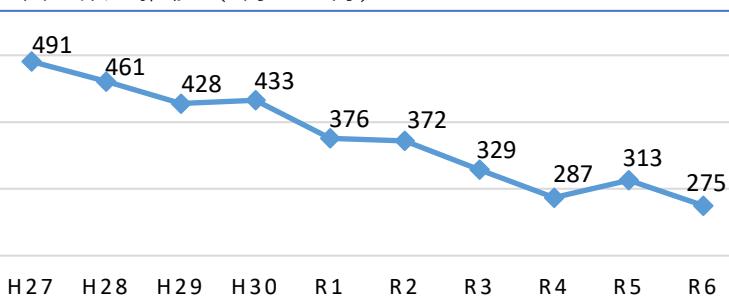
## ■ファミリー・サポート・センター事業



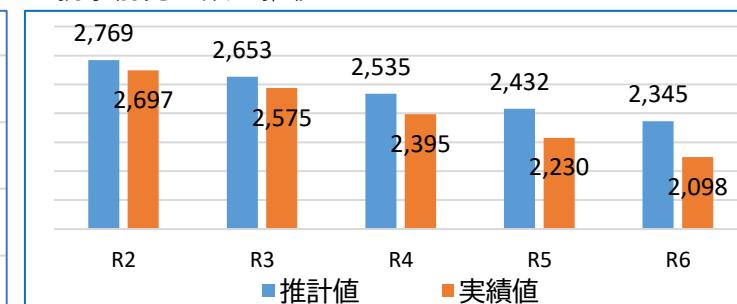
## ■留守家庭児童



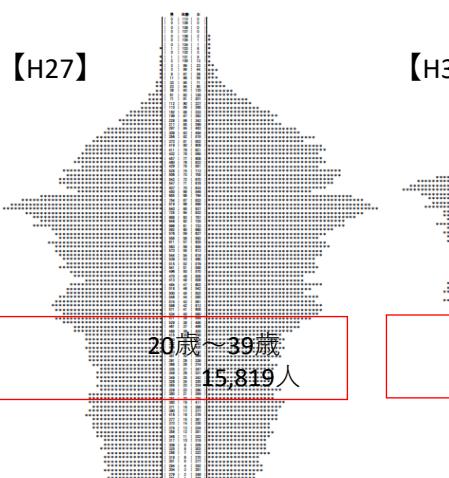
## ■出生数の推移（1月～12月）



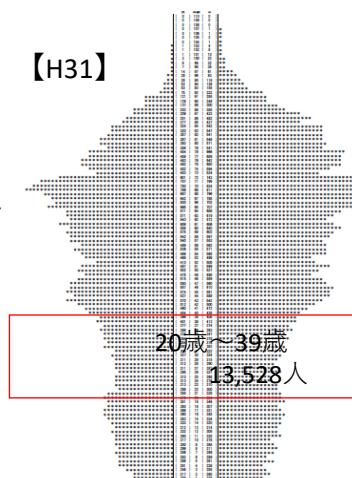
## ■就学前児童数の推移



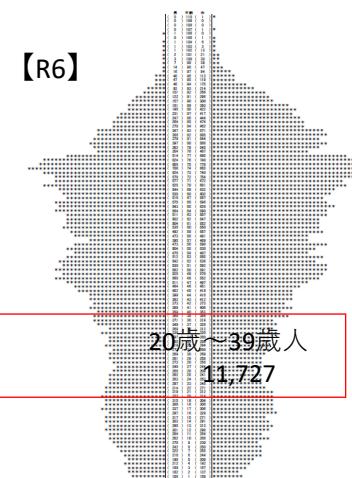
【H27】



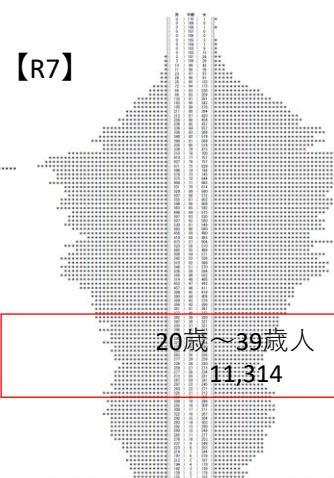
【H31】



【R6】



【R7】



## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
1-1	保育所入所・環境整備事業 (保育所入所運営事業)	4-3- (2)	こども未来課	保護者の労働又は疾病などの理由により、保育を必要とする児童の保育を行います。 保育所の受入定数については、ほぼ充足されていますが、今後、社会情勢等を見ながら柔軟に対応していきます。 保育士等の資質を向上させ、保育環境の充実を図るため、研修会等の実施を進めていきます。さらに、建物の老朽化が進んでいる保育所については、施設環境の改善を支援していきます。	私立認可保育所の入所率は、計画期間を通して100%を若干上回った。統計上の待機児童は計画期間を通して0人で、年度途中に生じた入所待ちについても、翌年4月には解消した。 研修会等の周知については、国や道からの通知を対象施設へ送付するなどの対応をした。 老朽化施設の改修は、西保育園の改修を行ったものの、建築費の高騰等を理由に断念する園もあった。	A	A	A	A	A	A
1-2	休日保育事業 (保育所入所運営事業)	4-3- (2)	こども未来課	日曜、祝日に保護者の勤務等により児童が保育に欠ける場合、休日の保育を行っています。 ニーズ調査では、土曜日の利用希望は約3割、日曜日・祝日の利用希望は約2割となっていることから、今後の利用状況を踏まえて実施か所数について検討していきます。	計画期間を通して、休日に保護者の就労などの理由で保育を必要とする児童の保育を行うことができた。  【実施施設】 西保育園（1か所）  【年間延べ利用人数】 R2 : 489人 R3 : 340人 R4 : 264人 R5 : 234人 R6 : 280人	A	A	A	A	A	A
1-3	延長保育事業 (保育所入所運営事業)	4-4- (9)	こども未来課	保護者の仕事等のため、通常の保育所の開所時間を越えて児童の保育を希望する場合に行っていきます。 ニーズ調査では、18:00以降の利用希望は約4割となっていることから、延長保育事業を保護者の就労形態に対応するよう、実施か所数も含め検討していきます。	計画期間を通して、市内すべての認可保育所・認定こども園等で実施、利用を希望したすべての児童が延長保育を利用することができた。  【年間延べ利用人数】 R2 : 8,029人 (472人※実利用人数) R3 : 7,649人 (419人※実利用人数) R4 : 6,282人 R5 : 6,275人 R6 : 6,523人 ※当初実利用人数での集計を行っていたが、延べ利用人数での集計の方が延長保育事業全体の利用実態を把握できること、実利用人数の集計作業が園の負担となることから、集計方法をR4から変更している。	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
1-4	一時預かり事業 (保育所入所運営事業)	4-4- (8)	こども未来課	専業主婦家庭等の育児疲れの解消、保護者の急病や保護者の断続的な就労形態などに対応するため、一時的に預かる保育を行っています。	ふれあい子どもセンター（公立）と日の出保育園（私立）の2か所で事業を実施。計画期間を通して、保護者の育児疲れや急病等の状況に応じ、保育を実施することができた。  【延べ利用児童数】 R2 : 公立28人 私立38人 R3 : 公立43人 私立13人 R4 : 公立42人 私立23人 R5 : 公立37人 私立23人 R6 : 公立53人 私立13人	A	A	A	A	A	A
1-5	病児保育事業 (病児・病後児保育事業)	4-4 (10)	こども未来課	児童が病気又は病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、専用スペースにおいて児童を一時的に預かります。	計画期間を通して、市内医療機関の協力のもと、回復期に至らない子どもにつき、保護者が仕事等により家庭で保育ができない場合に専用施設で一時的に保育を行い、安心して子育てができるよう支援することができた。  【病児のみ（病児保育施設）】 R2 : 登録者数112人 延利用者数 49人 R3 : 登録者数121人 延利用者数132人 R4 : 登録者数 89人 延利用者数 88人 R5 : 登録者数126人 延利用者数200人 R6 : 登録者数114人 延利用者数115人  【病後児のみ（岩見沢ひがし認定こども園）】 R2 : 1人 R3 : 3人 ※R3事業終了  【病児・病後児（岩見沢市ファミリー・サポート・センター）】 R4 : 登録者数67人 延利用者数 1人 R5 : 登録者数81人 延利用者数29人 R6 : 登録者数93人 延利用者数 7人 ※R4事業開始	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																																														
							R2	R3	R4	R5	R6																																										
1-6	ファミリー・サポート・センター事業 (こども・子育て応援事業)	4-4 (7)	こども未来課	地域において育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を行いたい者（提供会員）を会員として組織し、会員相互の子育て援助活動を支援することにより、安心して子育てできる環境づくりを行います。	<p>保育サービス講習会を実施し、提供会員の登録を確保することにより、概ね量の見込みのとおりのサービスを提供することができた。また、地域における市民相互の援助活動を支援し、安心して子育てできる環境づくりに努めた。</p> <p>引き続き、地域における子育ての相互援助活動の機運醸成のため、本事業の周知に努める。</p> <p><b>【保育サービス講習会】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催数</th> <th>修了数</th> <th>提供会員登録数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>2</td> <td>24</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2</td> <td>21</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【利用実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>量の見込み</th> <th>援助活動件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>485</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>476</td> <td>454</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>468</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>452</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>434</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>	年度	開催数	修了数	提供会員登録数	R2	2	24	9	R3	2	16	5	R4	1	11	5	R5	2	21	4	R6	2	13	10	年度	量の見込み	援助活動件数	R2	485	409	R3	476	454	R4	468	411	R5	452	357	R6	434	290	A	A	A	A	A	A
年度	開催数	修了数	提供会員登録数																																																		
R2	2	24	9																																																		
R3	2	16	5																																																		
R4	1	11	5																																																		
R5	2	21	4																																																		
R6	2	13	10																																																		
年度	量の見込み	援助活動件数																																																			
R2	485	409																																																			
R3	476	454																																																			
R4	468	411																																																			
R5	452	357																																																			
R6	434	290																																																			
1-7	放課後児童健全育成事業 (留守家庭児童対策事業)	4-4 (11)	学校教育課	<p>児童館等を利用して、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童を、登録制により受け入れています。</p> <p>民間の放課後児童クラブと連携を図りながら利用ニーズに対応できる体制の整備に努めるとともに、児童に遊びと生活の場を提供し、適切な育成支援を行い児童の成長を支えます。</p>	<p>児童数は減少しているが、共働き世帯が増加したため、登録者数は大きく減少しなかった。実利用者数に対応できる提供体制を維持し、小学1年生から6年生の留守家庭児童に対する生活と遊びの場を提供して、健全育成を図ることができた。</p> <p><b>【放課後児童クラブ3月末登録実績】</b></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1,192人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,121人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,147人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,158人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,184人</td> </tr> </tbody> </table>	R2	1,192人	R3	1,121人	R4	1,147人	R5	1,158人	R6	1,184人	A	A	A	A	A	A																																
R2	1,192人																																																				
R3	1,121人																																																				
R4	1,147人																																																				
R5	1,158人																																																				
R6	1,184人																																																				

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																																																																						
							R2	R3	R4	R5	R6																																																																		
1-8	地域子育て支援センター事業 (子育て総合支援センター事業)	4-4- (2) 4-8- (1)	こども未来課	<p>来所、電話での子育て相談や情報提供、初めて子育てる親の交流、屋外での青空広場、母親のリフレッシュ、父親の育児参加など、各種の子育て支援事業を実施します。</p> <p>保育所及び認定こども園に併設の地域子育て支援センターは、家庭内で保育している親子を対象として、保育所の機能を活用して育児不安等についての相談・指導を行うほか、子育てサークルの育成を支援しています。</p> <p>これらの子育て支援センターが、相互に連携し、機能を充実していきます。</p>	<p>コロナ禍においても、感染症対策を行いながら、可能な限り各種子育て支援事業の実施に努めた。</p> <p>子どもの健やかな成長を支え、安心して子育てができる環境づくりに寄与した。</p> <p>引き続き、子育てに喜びや楽しみを持ち、安心して子育てができるよう、子どもの健やかな成長を支えるための支援を行う。</p> <p>(参加延人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て相談</td> <td>1,479</td> <td>1,555</td> <td>741</td> <td>741</td> <td>1,626</td> </tr> <tr> <td>小児科医子育て相談</td> <td>167</td> <td>28</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>おしゃべりルーム</td> <td>822</td> <td>926</td> <td>977</td> <td>1,231</td> <td>1,050</td> </tr> <tr> <td>ペピーマッサージ講習会</td> <td>62</td> <td>70</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>青空広場</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>90</td> <td>37</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ支援事業</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション広場</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>54</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>子育てサポーター学習会</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>33</td> <td>28</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(回数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援センター連絡協議会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		R2	R3	R4	R5	R6	子育て相談	1,479	1,555	741	741	1,626	小児科医子育て相談	167	28				おしゃべりルーム	822	926	977	1,231	1,050	ペピーマッサージ講習会	62	70	60			青空広場	中止	中止	90	37	62	リフレッシュ支援事業	14	10	14	14	14	コミュニケーション広場	40	42	37	54	75	子育てサポーター学習会	30	28	33	28	7		R2	R3	R4	R5	R6	子育て支援センター連絡協議会	3	3	3	3	3	A	B	B	B	A	A
	R2	R3	R4	R5	R6																																																																								
子育て相談	1,479	1,555	741	741	1,626																																																																								
小児科医子育て相談	167	28																																																																											
おしゃべりルーム	822	926	977	1,231	1,050																																																																								
ペピーマッサージ講習会	62	70	60																																																																										
青空広場	中止	中止	90	37	62																																																																								
リフレッシュ支援事業	14	10	14	14	14																																																																								
コミュニケーション広場	40	42	37	54	75																																																																								
子育てサポーター学習会	30	28	33	28	7																																																																								
	R2	R3	R4	R5	R6																																																																								
子育て支援センター連絡協議会	3	3	3	3	3																																																																								
1-9	子育て親子ひろば (子育て総合支援センター事業)	4-4- (2)	こども未来課	<p>市内14か所の児童館等で主任児童委員が中心となり、就学前の親子が子育ての情報交換や、子育て経験者からアドバイスを受けるなど、子育て親子の遊びや交流を支援していきます。</p> <p>また、常設型親子ひろば「ひなたっ子」を継続し、いつも気軽に交流できる機会を提供するとともに、こども・子育てひろば「えみふる」の構成部門として、相談者と支援者をつなぐ充実した子育て環境の整備を図っていきます。</p>	<p>主任児童委員・民生委員児童委員、保健推進員、子育てボランティア等の地域スタッフが協力しながら、小学校区の児童館等を活用する地域親子ひろばを開催することで、子育て親子の身近な地域での交流を支援することができた。</p> <p>常設型子育て親子ひろば「ひなたっ子」は、コロナ禍で利用者数が減少していたが、回復傾向となり、就学前の親子が身近な地域で遊びながら交流できる環境を作ることができた。</p> <p>(利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>地域親子ひろば</th> <th>常設型親子ひろば</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1,026</td> <td>9,220</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,026</td> <td>8,516</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>772</td> <td>9,301</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,023</td> <td>9,304</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>978</td> <td>9,819</td> </tr> </tbody> </table>		地域親子ひろば	常設型親子ひろば	R2	1,026	9,220	R3	1,026	8,516	R4	772	9,301	R5	1,023	9,304	R6	978	9,819	A	B	B	A	A	A																																																
	地域親子ひろば	常設型親子ひろば																																																																											
R2	1,026	9,220																																																																											
R3	1,026	8,516																																																																											
R4	772	9,301																																																																											
R5	1,023	9,304																																																																											
R6	978	9,819																																																																											

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
1-10	幼稚園における子育て支援事業 (幼稚園入所運営事業)	4-4- (8)	民間実施 こども未来課	各幼稚園で、預かり保育を対象とした子育て支援事業を行っていきます。	各幼稚園等において、預かり保育を対象とした子育て支援事業を行うことができた。  【預かり保育延べ利用児童数】 R2 : 33, 289人 R3 : 36, 277人 R4 : 35, 499人 R5 : 29, 744人 R6 : 25, 643人	A	A	A	A	A	A
1-11	子育て情報の発信 (こども・子育て応援事業)	4-4- (1)	こども未来課	子育てをしている家庭に対し、公共施設などで「子育てガイドブック」等を配布するとともに、市のホームページや教育委員会フェイスブック、保健センターなどの関係部門と連携を図り、子育て情報を提供します。 また、市民ニーズを踏まえた新たな情報発信のあり方について、検討を進めていきます。	こども・子育て情報について、より効率的な情報発信となるよう、冊子の配布やHP・SNSといったインターネットなどの様々な媒体を活用して周知、啓発を行った。 引き続き、市民ニーズに応じて様々な媒体を活用するとともに、効果的な周知方法を検討し、実施していく。	A	A	A	A	A	A
1-12	民生委員・児童委員活動 (民生委員児童委員協議会運営費 交付等事業)	4-4- (1)	福祉課・ こども未来課	地域における身近な相談者として、地域福祉の充実を図るとともに、児童の健全育成や支援を必要とする子育て世帯の把握に努め、関係機関と連携して支援を行っていきます。 さらに、児童福祉を専門に担当する主任児童委員などと協力し、福祉活動の展開や情報提供を行っていきます。 また、委員活動の充実や資質を高めるための研修を行っていきます。	(こども未来課) 小学校区の児童館等を活用する地域親子ひろばは、地域ぐるみの子育て支援として実施してきた。コロナ禍、少子化、早期就園の影響から利用者数は減少しているが、就学前の親子が身近な地域で交流できる場の提供に努め、一定の役割を果たすことができた。引き続き、交流の場を提供するとともに、安心して子育てができるよう関係機関と連携を図りながら活動していく。  (福祉課) コロナ禍により町会との交流や学校への訪問活動を自粛した期間はあったが、現在は活動を再開し、地域の実情把握や関係機関との連携に努めたほか、こども・子育てに関する研修会への参加や主任児童委員部会、児童福祉部会により研修等を企画、実施することで委員の資質向上を図ることで児童の健全育成に寄与することができた。	B	B	B	B	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

«評価の基準»

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
1-13	児童館運営事業 (児童厚生施設運営事業)	4-7- (6)	学校教育課	健全な遊びを通して、多様な経験を積みながら心身ともに健やかに育つよう、児童の集団的及び個別的指導を行うとともに児童館を適正に運営していきます。 また、母親クラブや体験学習等の場の提供と活動の育成を行っていきます。	計画期間中における児童館全体の利用者数は、増加傾向にあり、多くの児童へ健全な遊びを提供し、心とからだの健康を育むことができた。 また、地域組織活動として、母親クラブとの共催事業の実施や地域親子ひろばへの場の提供などを行い、活動の支援を行った。  【児童館利用者実績】 児童 一般 R2 94,180人 4,761人 R3 103,343人 4,341人 R4 108,756人 6,873人 R5 109,992人 6,362人 R6 111,840人 6,856人	A	A	A	A	A	A
1-14	地域活動の育成 (母親クラブ・子ども会) (児童厚生施設運営事業)	4-7- (6)	学校教育課	母親クラブや子ども会などの地域の組織的な活動や、その指導者の育成を図り、地域ボランティア等の協力を得て地域児童の健全育成活動に努めています。	子ども会活動については、地域ごとの特色に応じた活動を行い、地域児童の健全育成を行ったが、少子化に伴い、地域の子ども会活動に参加する児童数が減少したほか、子ども会活動を行う人材の不足などが重なり、単位子ども会会員数及び子ども会会員数ともに減少した。 母親クラブにおいては、コロナ禍による活動縮小から戻りつつあり、児童館との共催事業などを通じて、地域児童の健全育成を図った。  【子ども会数及び会員数（小中高生）】 R2 90子ども会 3,206人 R3 89子ども会 2,965人 R4 84子ども会 2,720人 R5 84子ども会 2,621人 R6 83子ども会 2,343人  【母親クラブ数及び会員数】 R2 14母親クラブ 993人 R3 14母親クラブ 1,060人 R4 14母親クラブ 1,066人 R5 14母親クラブ 948人 R6 14母親クラブ 998人	B	B	B	B	B	B

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
1-15	交流事業 (児童厚生施設運営事業)	4-7- (6)	学校教育課	児童館を利用して、児童がゲームや遊びを通して異年齢交流を行うとともに、小中学生を各種の研修事業に派遣し、リーダーとなる人材の育成を進めていきます。	コロナ禍により活動の縮小を行なうなどしたが、夏レク、冬レクを児童館ごとに実施するなど、工夫しながら交流事業を継続して実施できた。 また、コロナ禍により中断していた他館との交流事業では、市内児童館を4ブロックに分けて遠足レクの形で令和6年度から再開し、児童の社会性・協調性を育むことができた。 【交流事業の参加人数】 夏レク 冬レク 遠足レク R2 363人 367人 - R3 502人 490人 - R4 509人 497人 - R5 669人 419人 - R6 628人 456人 124人	A	A	A	A	A	A
1-16	保育所地域活動事業 (保育所入所運営事業)	4-3- (3)	こども未来課	保育所と地域の人々との交流や老人福祉施設への訪問など、保育所と地域の人々との世代間交流を促進していきます。	計画期間の前半は新型コロナウイルスをはじめとする感染症の影響により、世代間の交流を図ること自体が難しい状況であったこと、終息後も感染症に対する意識の高まり等により交流施設との調整が進まない園もあったことから、想定よりも実施施設数は少ない結果となった。 【実績】 R5 未実施10園、実施9園 R6 未実施7園、実施12園 ※R2-R4は新型コロナウイルス影響により全園実施なし	C	C	C	C	C	C
1-17	市内保育所調理担当者会議 (ふれあい子どもセンター運営事業)	4-3- (2)	こども未来課	認可保育所の調理担当者を対象に食事の作り方、栄養価の計算、アレルギー対応等の研修会を行うほか、管理栄養士が毎月の献立表を作成し、各保育所に提供していきます。入所児童の食育の推進など健康管理を含め、栄養面やアレルギー等に配慮した指導を進めていきます。	各保育所栄養士は1人体制が多いため、調理担当者が抱える問題や悩みを相談できる機会として市内保育所担当者会議は役立つ場となった。また、給食調理に入っている栄養士が多く情報収集に疎くなりがちだが、新たな情報を提供できる会議となった。 【開催回数及び参加施設数、延べ参加人数】 R2 10回 101人 R3 10回 89人 R4 12回 118人 R5 12回 119人 R6 12回 115人	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																
							R2	R3	R4	R5	R6												
1-18	幼児教育支援事業 (幼稚園入所運営事業)	4-3-(2)	こども未来課	幼稚園に対し運営や建築に係る支援を行い、幼児教育の充実向上に努めています。	<p>幼稚園に対し運営や建築に係る支援を行い、幼児教育の充実向上に努めた。</p> <p><b>【運営支援】</b> 市内の私立幼稚園5園すべてが、新制度に移行（うち2園は幼稚園型認定こども園へ移行）しており、令和元年10月からの子ども・子育て支援法の改正により幼稚園に入園する満3歳から5歳までのすべてのこどもの保育料が無料となっている。 施設からの加算認定に係る事項や認定こども園移行に関する相談等に応じることで、施設の運営を支援することができた。</p> <p><b>【建築支援】</b> 第2期プラン中は、建築支援を希望する園がなかった。</p>	A	A	A	A	A	A												
1-19	産前産後ヘルパー事業 (こども・子育て応援事業)	4-4- (5)	こども未来課	産前産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を軽減し、安心して出産を迎え、子育てができるよう、妊娠届時から出産後1年以内の期間、ヘルパーを派遣し、家事・育児の支援を行っていきます。	<p>計画期間中における本事業の登録者は各年度出生数の約20%となっており、事業実施体制の整備及び事業の周知により、日常的に家族等からの援助が受けられない家庭にとって必要なサービスとして認知され、利用につなげることができた。 引き続き、利用を必要とする家庭に必要な情報が届くよう本事業の周知に努める。</p> <p><b>【産前産後ヘルパー実績】</b></p> <table> <thead> <tr> <th>登録人数</th> <th>延利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2 63人</td> <td>295回</td> </tr> <tr> <td>R3 71人</td> <td>259回</td> </tr> <tr> <td>R4 68人</td> <td>223回</td> </tr> <tr> <td>R5 61人</td> <td>199回</td> </tr> <tr> <td>R6 67人</td> <td>250回</td> </tr> </tbody> </table>	登録人数	延利用回数	R2 63人	295回	R3 71人	259回	R4 68人	223回	R5 61人	199回	R6 67人	250回	A	A	A	A	A	A
登録人数	延利用回数																						
R2 63人	295回																						
R3 71人	259回																						
R4 68人	223回																						
R5 61人	199回																						
R6 67人	250回																						
1-20	新しい幼児教育と保育 (栗沢認定こども園運営事業)	4-5- (2)	こども未来課	保育所と幼稚園を1つの施設として運営する栗沢認定こども園で保育と幼児教育を一体的に行い、栗沢地域の子育て支援に努め地域交流の活性化を図ります。	<p>保育所と幼稚園を1つの施設として運営する栗沢認定こども園で保育と幼児教育を一体的に行い、地域の子育て支援に努め、地域交流の活性化を図ることができた。</p> <p><b>【入所児童】（月平均）</b></p> <table> <tbody> <tr> <td>R2：幼稚園8人</td> <td>保育所38人</td> </tr> <tr> <td>R3：幼稚園5人</td> <td>保育所36人</td> </tr> <tr> <td>R4：幼稚園7人</td> <td>保育所34人</td> </tr> <tr> <td>R5：幼稚園5人</td> <td>保育所38人</td> </tr> <tr> <td>R6：幼稚園4人</td> <td>保育所35人</td> </tr> </tbody> </table>	R2：幼稚園8人	保育所38人	R3：幼稚園5人	保育所36人	R4：幼稚園7人	保育所34人	R5：幼稚園5人	保育所38人	R6：幼稚園4人	保育所35人	A	A	A	A	A	A		
R2：幼稚園8人	保育所38人																						
R3：幼稚園5人	保育所36人																						
R4：幼稚園7人	保育所34人																						
R5：幼稚園5人	保育所38人																						
R6：幼稚園4人	保育所35人																						
1-21	保育所入所運営事業（同）	4-3- (2)	こども未来課	保育所等を利用するすべての家庭の負担を軽減するために保育料の減額細分化を実施しています。	計画期間中、保育所等を利用するすべての家庭の負担を軽減するため、保育料の減額細分化を継続して実施した。	A	A	A	A	A	A												

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																												
							R2	R3	R4	R5	R6																								
1-22	ブックスタート事業（同）	4-3- (3)	図書館	赤ちゃんに絵本を贈り、絵本を開く楽しさを伝え、また家庭で読み聞かせなどを通じて親子が心をふれあうきっかけをつくりていきます。	計画期間中ほぼすべての対象者へ配布することができた。今後も本事業の継続及びベビカフェや、親子を対象とした絵本の読み聞かせの定期開催などのフォローアップ事業を行っていく。  【ブックスタートパック配布数】 R2 396人 R3 330人 R4 301人 R5 306人 R6 303人	A	A	A	A	A	A																								
1-23	子育て短期支援事業 (子ども・子育て応援事業)	4-4- (6)	こども未来課	保護者が病気、出産、看護、出張、育児の疲れなどの理由により一時的に保育が必要になった場合、児童を児童養護施設等で、原則7日を限度に預かり、子育て家庭を支援します。	出産や看護、出張のほか、育児疲れやストレスに係る休息としての活用や児童虐待防止を目的とした緊急的な利用等に対応し、必要に応じたサービスを提供することができた。 引き続き、支援を必要とする家庭に必要な情報が届くよう本事業の周知に努める。  <table border="1"><tr><th></th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>46</td><td>68</td><td>7</td><td>9</td><td>0</td></tr><tr><td>実利用家庭数</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>延べ利用日数</td><td>92</td><td>138</td><td>16</td><td>9</td><td>0</td></tr></table>		R2	R3	R4	R5	R6	延べ利用者数	46	68	7	9	0	実利用家庭数	1	1	3	1	0	延べ利用日数	92	138	16	9	0	A	A	A	A	A	A
	R2	R3	R4	R5	R6																														
延べ利用者数	46	68	7	9	0																														
実利用家庭数	1	1	3	1	0																														
延べ利用日数	92	138	16	9	0																														
1-24	「えみふる」子育て相談 (あそびの広場運営事業)	4-4- (1)	こども未来課	こども・子育てひろば「えみふる」において、誰もがいつでも気軽に相談でき、必要な支援を受けられるよう、中核施設である「あそびの広場」で月3回、小児科医、保育士、保健師等の専門職による子育て相談を実施します。	子育てに関する様々な分野の専門職に気軽に相談できる場を持つことで、育児不安の解消や発育、発達を促す相談支援を行うことができた。今後も身近な地域で専門職が相談に応じる体制を維持していく。  <table border="1"><tr><th></th><th>回数</th><th>件数</th></tr><tr><td>R2</td><td>46</td><td>111</td></tr><tr><td>R3</td><td>41</td><td>97</td></tr><tr><td>R4</td><td>33</td><td>67</td></tr><tr><td>R5</td><td>21</td><td>106</td></tr><tr><td>R6</td><td>23</td><td>88</td></tr></table>		回数	件数	R2	46	111	R3	41	97	R4	33	67	R5	21	106	R6	23	88	A	A	B	B	B	A						
	回数	件数																																	
R2	46	111																																	
R3	41	97																																	
R4	33	67																																	
R5	21	106																																	
R6	23	88																																	

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
1-25	子育て夜間養護等事業 (子ども・子育て応援事業)	4-4- (6)	こども未来課	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において養育が困難となった場合に、児童を児童養護施設等で預かり、子育て家庭を支援します。	出産や看護、出張のほか、育児疲れやストレスに係る休息としての活用や児童虐待防止を目的とした緊急的な利用等に対応し、必要に応じたサービスを提供することができた。 引き続き、支援を必要とする家庭に必要な情報が届くよう本事業の周知に努める。	A	A	A	A	A	A
1-26	保育士等材人材確保事業 (保育・教育人材確保事業)	4-5- (2)	こども未来課	保育士、幼稚園教諭の養成校を新規に卒業した者の採用に取り組む市内保育園等を支援します。	市内の保育所または幼稚園で、新規採用の保育士及び幼稚園教諭の就職準備金を支給した施設へ上限20万円として補助金を交付することで、施設の求人活動を支援することができた。  【補助実績】 R2：幼稚園 2園 4名 保育所 3園 3名 R3：幼稚園 2園 2名 保育所 4園 6名 R4：幼稚園 2園 4名 保育所 3園 5名 R5：幼稚園 1園 1名 保育所 4園 4名 R6：幼稚園 2園 4名 保育所 3園 3名	A	A	A	A	A	A
1-27	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	4-4- (13)	こども未来課	認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築し、良質な保育体制の確保を図ります。	各施設からの実施要望はなく、計画期間を通して、事業の実施はなかったが、特別な支援を要する子どもの受入体制構築にあたり必要な相談体制を整えることができた。	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																
							R2	R3	R4	R5	R6												
1-28	保育士等人材バンク (保育所入所運営事業、幼稚園入所運営事業)	4-5- (2)	こども未来課	保育士、幼稚園教諭等の資格を生かした仕事に就きたい方や人材確保に苦労している市内の施設に対して求人情報をメールでお知らせするシステムです。	市内保育所等において、保育士不足が深刻であるため、掲載を希望する園は一定数あったが、登録者数は低く推移していた。事業認知度の向上が課題となった。  【実績（求人情報）】 R2 : 保育所1園 幼稚園1園 R3 : 保育所0園 幼稚園1園 R4 : 保育所2園 幼稚園1園 R5 : 保育所1園 幼稚園0園 R6 : 保育所9園 幼稚園1園  【実績（登録者数）】 R2 : 0名 R3 : 0名 R4 : 2名 R5 : 0名 R6 : 6名	B		B	B	B	B												
1-29	児童館等地域見守り事業 (児童厚生施設運営事業)	4-4- (11) 4-8- (4)	学校教育課	学校休業日の早朝、放課後児童クラブを利用する児童を地域の協力を得て児童館等に受け入れるようにします。	土曜日や長期学校休業期間中の放課後児童クラブ全20か所において、地域の協力を得て早朝からの受け入れを実施し、保護者の就労等に合わせたニーズに対応した。  【利用実績】 登録児童数 延べ利用数 R2 426人 2,755人 R3 518人 8,379人 R4 641人 9,246人 R5 694人 9,130人 R6 727人 10,020人	A		A	A	A	A												
2-1	障がい児保育事業 (保育所入所運営事業)	4-3- (2)	こども未来課	保護者の労働又は疾病などの理由により、保育を必要とする障がい児の保育を行っていきます。 障がいのある児童を安心して保育できる環境づくりを進めています。	計画期間を通して、障がいのある児童を安心して保育できる環境づくりの支援を行なうことができた。  【該当者】 R2 : 4園 6名 R3 : 5園 9名 R4 : 7園 12名 R5 : 6園 7名 R6 : 6園 8名	A		A	A	A	A												
2-2	保健推進員活動 (母子保健推進事業)	4-4- (4)	こども未来課	町内会から推薦された保健推進員が、地域内の妊産婦・乳幼児を対象に健康に関する情報提供や親子ひろばの協力など、地域で子育て支援を行っていきます。全市的に行っていける親子ひろばの担い手でもある主任児童委員と連携し、地域の子育て支援に協力します。	地域での親子ひろばの協力や乳幼児健診の託児協力など、地域での子育て支援活動に協力することはできたが、出生数の低下や就労している親の増加により、個別のアプローチはしにくい状況があり、情報提供等の活動は思うようにできなかった。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>支援数（延）</td><td>514</td><td>411</td><td>569</td><td>548</td><td>838</td></tr></table>		R2	R3	R4	R5	R6	支援数（延）	514	411	569	548	838	B		B	B	B	B
	R2	R3	R4	R5	R6																		
支援数（延）	514	411	569	548	838																		

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
2-3	母子健康手帳交付及び妊産婦健康診査事業 (母子保健推進事業)	4-4- (3)	こども未来課	妊娠の届出があった妊婦に対し母子健康手帳を交付するとともに、妊婦一般健康診査受診票を妊娠前期、後期に交付、また産婦健康診査受診票も交付し、妊産婦の健康保持・増進を図っていきます。	全妊婦に対し、妊娠前期と妊娠後期に面談を行い、妊娠経過が順調に進むよう適切な指導に努めた。また、妊産婦に対し、健康診査受診票を交付するとともに、産科医療機関と連携を図り、必要に応じて妊娠期から訪問指導を行う等、妊産婦が心身共に健康に過ごせるよう必要な情報提供や早期相談対応の支援を行うことができた。	A	A	A	A	A	A
2-4	母親学級及びペア学級事業 (母子保健推進事業)	4-4- (3) 4-8- (1)	こども未来課	母親学級は妊婦を対象に、歯科医師・保健師・栄養士の講話や実技を行っていきます。また、ペア学級は妊娠中の夫婦を対象に、保健師による講話や実技、妊婦体験などを行っていきます。 学級では、妊娠・出産・育児に必要な情報・知識・技術を伝え、男女が共に支え合い親になる心構えを養うとともに、育児の仲間づくりとなる事業を進めています。 また、1人でも多くの人が参加できるよう啓発に努めています。	安心安全な出産を迎え、産後も適切な育児ができるよう、また核家族化が進む中、夫婦で協力しながら育児していく意識を高め、健やかな家庭が築かれるよう、育児に必要な知識や技術の提供を行うことができた。 今後も事業の周知に努め、対面で参加者の声や表情を見ながら進めていく教室の強みを活かし、満足度を高められるように実施していく。	B	B	B	B	B	B
2-5	妊産婦・新生児・ 乳幼児訪問事業 (母子保健推進事業)	4-4- (4) 4-4- (5)	こども未来課	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を対象に保健師・助産師が訪問指導を行っていきます。 また、各種乳幼児健診後の経過観察児、健診未受診児に対し、訪問指導を行っていきます。	妊産婦、新生児、乳幼児の訪問指導は、親子の心身の状況や養育環境の把握につながり、必要な助言、指導を行うことで子どもの健やかな発育、発達を促すことに寄与した。 出生数は減少しているが、妊娠期から継続支援が必要なハイリスク家庭も一定数いるため、妊娠期から関係機関と連携しながら継続した支援を今後も実施していく。	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
2-6	股関節脱臼検査 (母子保健推進事業)	4-6	こども未来課	3か月児を対象に専門医による検診を月1回行っています。 疾病を早期に発見し治療することにより、乳児期の健康を維持するため事業を進めていきます。	先天性股関節脱臼検査は、専門医が診察することで、早期発見、早期治療に繋がっている。 抱き方やおむつの当て方などの育児手技も股関節脱臼の発生や悪化につながるため、予防についての助言、指導を継続していくとともに、専門医による検診体制を維持していく。	A	A	A	A	A	A
2-7	乳幼児健康診査事業 (母子保健推進事業)	4-6	こども未来課	身体計測、問診、診察、栄養・歯科指導等保健指導を行い、疾病や心身障がいの早期発見及び保護者への育児支援を行っています。 乳幼児の心身の健全な発育発達を促すよう努めています。	発育、発達の節目で実施する乳幼児健診は、高い受診率を維持することができており、疾病や障がい、発達の遅れなどを発見し、早期に適切な支援に結び付けることができている。また、養育環境や保護者の心身の状況など育児困難等を抱える家庭の把握、支援につなげる場としても有用であり、今後も実施体制を維持していく。	A	A	A	A	A	A
2-8	歯科健診及びフッ素塗布事業 (母子保健推進事業)	4-6	こども未来課	1歳6か月児健診で歯科検診及びフッ素塗布を行っています。 歯科衛生士の指導により、幼児のむし歯予防の啓発を進めています。	1歳6か月児健診のう歯罹患率は年々減少しているが、3歳児健診は増減を繰り返している。1歳6か月児健診での集団指導やフッ素塗布の際の個別指導を強化し、う歯予防行動をとるきっかけづくりとして継続実施していく。	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																																								
							R2	R3	R4	R5	R6																																				
2-9	母子相談事業 (母子保健推進事業)	4-4- (4)	こども未来課	健康に関する来所・電話相談には、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士で随時対応していきます。 妊娠届出時、及び妊娠後期の相談指導や、育児不安解消のため、相談や情報提供を行っていきます。 不安が解消されない場合には、訪問や関係機関の紹介などの支援を行い、妊産婦・乳幼児等の健康保持・増進につながるよう努めています。	こども家庭センターの設置により、妊産婦やこども、子育て世帯への一的な相談支援体制の充実、強化が図られた。多職種が多方面から継続してチームで支援していくための連携や調整、多彩なアプローチについては引き続き検討し、その利点を市民に感じてもらえるよう今後も取り組みを勧める。	A	A	A	A	A	A																																				
2-10	学校栄養教諭による食指導の実施 (学校給食共同調理所運営事業)	4-7- (2)	学校給食課	成長過程にある児童生徒の健康増進に、必要な食事を提供するとともに、栄養バランスに優れた献立を通し、児童生徒がその発達の段階に応じて食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせるため、教育活動の一環として実践的な指導を行っていきます。	計画期間中における食に関する指導は、令和2~3年度の新型コロナウイルス感染症対策により、訪問延期・中止等の対応を余儀なくされたが、各学校との連携により概ね順調に事業を展開することができた。 引き続き、各学校との連携し、教育活動の一環として実践的な指導に取り組む。  【食指導（小中学校）】 R2 19校 85学級 延べ 97学級 R3 19校 106学級 延べ111学級 R4 20校 109学級 延べ125学級 R5 19校 113学級 延べ128学級 R6 19校 118学級 延べ146学級	A	A	A	A	A	A																																				
2-11	妊婦・乳幼児栄養指導 (母子保健推進事業)	4-6 4-4-(3)	こども未来課	妊娠期は母体及び胎児の健康や発育、乳幼児期は健康と食習慣形成の上で重要であり、母親学級、乳幼児健診、各種相談・教室などを通して個人の状況に合わせた栄養指導を進めています。	妊産婦及びこどもの成長・発達を考えながら、適切な時期に必要な指導をすることができた。  <table border="1"><thead><tr><th></th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>個別相談（延）</td><td>77</td><td>95</td><td>85</td><td>96</td><td>310</td></tr><tr><td>乳幼児健診</td><td>1,250</td><td>1,321</td><td>1,370</td><td>1,286</td><td>1,109</td></tr><tr><td>母親学級</td><td>31</td><td>27</td><td>33</td><td>30</td><td>14</td></tr><tr><td>フードデイ</td><td>16</td><td>中止</td><td>23</td><td>22</td><td>26</td></tr><tr><td>ばぶばぶ相談</td><td>55</td><td>67</td><td>67</td><td>62</td><td>64</td></tr></tbody></table>		R2	R3	R4	R5	R6	個別相談（延）	77	95	85	96	310	乳幼児健診	1,250	1,321	1,370	1,286	1,109	母親学級	31	27	33	30	14	フードデイ	16	中止	23	22	26	ばぶばぶ相談	55	67	67	62	64	A	A	A	A	A	A
	R2	R3	R4	R5	R6																																										
個別相談（延）	77	95	85	96	310																																										
乳幼児健診	1,250	1,321	1,370	1,286	1,109																																										
母親学級	31	27	33	30	14																																										
フードデイ	16	中止	23	22	26																																										
ばぶばぶ相談	55	67	67	62	64																																										
2-12	小児救急医療支援事業 (休日・夜間等診療対策事業)	4-6	健康づくり 推進課	年間を通して、二次医療圏単位で、病院群輪番制方式（岩見沢市立総合病院、市立美唄病院）により小児救急医療に係る休日・夜間の診療体制を整え、市民の安心・安全を守るために小児救急医療体制の確保・充実に努めます。	第2期プランにおける南空知医療圏の小児救急医療体制は、休日又は夜間時の小児科医師の院内待機やオンコール体制を整備することができ、小児の重症救急患者に対する医療が確保された。引き続き、体制維持に努める。	A	A	A	A	A	A																																				

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
2-13	予防対策事業 (疾病予防推進事業)	4-6	健康づくり 推進課	感染症の発生及びまん延予防のため、予防接種を行っていきます。 接種率の向上を目指し、感染症の流行の把握や、未接種者への勧奨を行っていきます。	第2期プラン中の接種率は全体を通して8~9割を達成できているので、今後も周知や未接種勧奨を行い、接種率の維持向上に取り組む。	A	A	A	A	A	A
2-14	フッ化物洗口事業 (こども・子育て応援事業)	4-6	こども未来課	関係機関と連携し、むし歯予防に努めています。	実施を希望する保育所及び幼稚園に対し、薬剤等の配付を行い、保護者が希望する4・5歳児を対象にぶくぶくうがいによるフッ化物洗口を実施した。  【事業実績】 R2 : 【実施施設】22施設 【実施人数】788名 R3 : 【実施施設】17施設 【実施人数】699名 R4 : 【実施施設】14施設 【実施人数】641名 R5 : 【実施施設】19施設 【実施人数】765名 R6 : 【実施施設】19施設 【実施人数】639名	A	A	A	A	A	A
2-15	幼児健診事後指導教室 (母子保健推進事業)	4-6	健康づくり 推進課	心理相談員、保育士、保健師がスタッフとなり、幼児健診後、発達経過をみる必要のある幼児及び育児不安等のある母親を対象に、集団の場を利用し助言指導を行っていきます。療育が必要な児童には、関係機関と連携し、適切な支援の提供に努めています。	令和2年度、令和3年度ともにコロナ禍により教室を中止した時期があったものの、育児不安のある母親や、こどもへの関わり方に苦慮する母親に対し、こどもの発達にあった関わり方を助言し、母親の不安解消と子どもの成長発達を促すよう支援することができた。 なお、平成30年度からは子ども課（現こども未来課）で発達支援を目的とした事業を開始したこと、母子を取り巻く施設やサークルにおいて適宜連携して母子のことを共有できている状況であったことから、令和3年度で本事業は終了とし、令和4年度以降は他の関係機関との情報共有を密にし、母子の育児不安や関わり方を個別に支援していくものとしている。	A	A	A	—	—	—
2-16	子どもの医療費の助成 (子どもの医療助成事業)	4-6	こども未来課	就学前の乳幼児と小・中学生を対象に、医療費を助成しています。 助成の範囲は、就学前の乳幼児と小学生の入院・通院及び中学生の入院で、保険診療の自己負担額となっています。 北海道は、3歳以上の課税世帯は1割、3歳未満及び3歳以上の非課税世帯は初診時一部負担金相当額となっていますが、岩見沢市では北海道基準を拡大して全額助成となっています。	計画期間中に助成対象年齢を拡充し、より多くの子どもの健康の保持増進が図られた。  受給者数 助成件数 助成額 R2 5,558人 64,698件 147,320千円 R3 5,375人 66,515件 152,974千円 R4 5,071人 66,321件 143,772千円 R5 7,553人 87,135件 202,483千円 R6 7,720人 101,054件 246,514千円	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
2-17	産後ケア事業 (母子保健推進事業)	4-4- (3)	こども未来課	産後間もない母親の身体的な回復と心理的な安定を促進するため、産後4か月までに2回まで助産師が乳房ケア、育児相談を実施します。	利用者数は年々増加しており、産後の体調管理や育児相談等のケアやサポート支援の需要は高まっている。 子ども・子育て支援法の改正により、R7.4から産後ケア事業は「地域子ども・子育て支援事業」に位置づけられ、計画的な提供体制の整備を進めることとされたことも踏まえ、今後は、日帰りで長時間滞在するデイケア型や宿泊型の導入等、休養の機会の提供等の実施を検討したい。	A	A	A	A	A	B
2-18	新生児聴覚検査助成事業 (母子保健推進事業)	4-6	こども未来課	聴覚障がいの早期発見・早期療育により、音声言語発達の影響を最小限に抑えるため、新生児聴覚検査の費用の一部を助成します。	新生児聴覚検査の費用の一部助成は、受診機会の確保となり、聴覚障がいの早期発見、早期療育に繋がった。	A	A	A	A	A	A
2-19	不妊・不育症治療費助成事業（同）	4-4- (3)	こども未来課	経済的負担の大きい不妊治療、不育症治療を受けているご夫婦に治療費の一部を助成し、安心して妊娠・出産できるよう支援していきます。	令和5年度より生殖補助医療の全額助成、先進医療費助成を開始したことにより、申請数は増加した。治療費が高額な不妊治療費の助成はの治療の開始や治療を続ける一助となった。 申請者の半数以上が30代後半から40代であり、一般不妊治療の妊娠率は低く生殖補助医療へ移行後も複数回申請する等、高齢化及び治療が長期化している。治療効果も考慮しながら、若い世代が意識し早期に治療へ繋がるよう周知していく。	A	A	A	A	A	A
3-1	保育所栄養士による食指導の実施 (ふれあい子どもセンター運営事業)	4-3-(2)	こども未来課	保育所では、食事の指導とクッキング保育に取り組み、望ましい食指導の定着に努めています。また、保護者に対して食習慣の啓発活動を行っていきます。	旬の食材を使った給食や時期に合わせた「食育だより」の発行で各家庭へ季節感を伝えるとともに、食事のマナーや食に関わる情報を発信できた。クッキング保育は、園児が自分で野菜を切るなどの調理を安全に考慮しつつ、園児の意欲を引き出し、自信につなげる行事にすることことができた。	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
3-2	性に関する指導の実施 (教育指導振興事業)	4-7-(2)	指導室	学校教育において、児童生徒の心身の発達における男女の役割と責任を生理学的、倫理学的面から理解し、性に対する健全な態度を培い、現代社会にふさわしい性道徳を確立するための教育を進めていきます。 医療関係者等と連携した教員研修を行い、児童生徒への指導の充実と、保護者への啓発に努めています。	すべての市立学校において、本事業内容を踏まえた授業等を年間指導に位置づけて実施した。また、コロナ禍を経て、徐々に専門家による出前授業が増え、児童生徒に対する専門的な指導と教員に対する資質向上の機会が増えてきた。  【外部講師による指導の実績】 R2 小1校 中1校 計2校 R3 小1校 中3校 計4校 R4 小1校 中3校 計4校 R5 小0校 中4校 高1校 計5校 R6 小2校 中4校 高1校 計7校	B	B	B	B	B	A
3-3	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の実施 (教育指導振興事業)	4-7-(2)	指導室	学校教育において児童生徒の心身の発達や健康で安全な生活を送るための基礎を培うため、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に関する認識を深め、現在及び将来において健康で安全な生活を送る態度を育成する教育を進めていきます。 警察や医療機関などの関係機関と連携した児童生徒への指導や教員研修を行い、児童生徒の健康で安全な生活を築こうとする態度の育成と保護者への啓発に努めています。	すべての市立学校において、本事業内容を踏まえた授業等を年間指導に位置づけて実施した。また、コロナ禍を経て、徐々に専門家による出前授業が増え、児童生徒に対する専門的な指導と教員に対する資質向上の機会が増えてきた。  【外部講師による指導の実績】 R2 小6校 中4校 計10校 R3 小5校 中3校 計 8校 R4 小8校 中5校 高1校 計14校 R5 小8校 中6校 高1校 計15校 R6 小7校 中5校 高1校 計13校	B	B	B	B	B	B
3-4	子どもの心の相談医 (総合病院事業)	4-7-(2) 4-7-(5)	市立総合病院	市立総合病院小児科外来において、「子どもの心」相談医における子どもの心理発達の基礎、様々な行動の問題、発達障がい、虐待による子どもの心の問題に対応し、心のケアや子育て支援するため、関係機関と連携し相談体制の充実に努めています。	外来受診の場合は、心の問題や子育ての不安等を発見する貴重な機会であることから、身体的な症状に加え、育児不安や子どもの心の不調に関する相談支援に努めた。	A	A	A	A	A	A
3-5	親になるための交流事業 (子育て総合支援センター事業)	4-7-(1)	こども未来課	中・高生等が直接子育てをしている親子と交流できる場の提供を行っています。	市が乳幼児とその保護者と対象として実施する「青空広場」を活用し、緑陵高等学校の生徒が家庭科の特別授業として、子育て中の親子とふれあうことで家庭での子育ての現状や地域子育て支援の重要性について学ぶ機会を提供した。 今後も効果的な実施手法について検討し、実施していく	A	C	C	C	A	A

(延人数)					
	R2	R3	R4	R5	R6
参加者数	中止	中止	中止	13	14

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
3-6	ティームティーチング、少人数指導の実施 (小中学校管理事業)	4-7- (2)	指導室 ・学校教育課	指導方法工夫改善のため、教員の加配を行うとともに、各学校で学校課題、児童生徒の学習状況に応じたティームティーチング（TT指導）、少人数指導を行っていきます。児童生徒の実態に合わせた指導の充実に努めています。	道教委による教職員加配を毎年度活用し、指導方法工夫改善、小学校専科指導などへの措置が図られた。また、加配教員による巡回指導の実施や、加配未配置校においても校内体制の見直しによりTT指導や少人数指導、習熟度別指導を実施するなど、児童生徒の実態に即した指導方法を展開することができた。	A	A	A	A	A	A
3-7	学力向上対策事業（同）	4-7- (2)	指導室	子どもたちが自ら学び考える力や、豊かな心と健やかな身体を育成するために、各学校が創意工夫のもとで取り組む活動を支援していきます。	全国学力・学習状況調査やNRTの結果を活用した分析により学校課題を把握し、授業づくりの改善に努めた。OKスタディや土曜キッズ英会話は、運営方法を工夫しながらこどもたちへの学びの機会確保に努めることができた。 【全国学力学習状況調査 ※全国平均100】 R2 中止 R3 小6国語 97.0 算数97.0 中3国語102.0 数学103.0 R4 小6国語100.6 算数99.7 中3国語100.0 数学 99.2 R5 小6国語 95.2 算数97.6 中3国語 98.9 数学102.0 R6 小6国語 96.0 算数91.5 中3国語 96.4 数学 97.1 【NRT市平均 ※全国平均50】 R2 小6国語50.3 算数50.0 中3国語51.2 数学50.1 R3 小6国語49.9 算数49.0 中3国語50.6 数学51.4 R4 小6国語48.2 算数47.5 中3国語50.3 数学49.6 R5 小6国語48.2 算数47.5 中3国語50.3 数学49.6 R6 小6国語47.8 算数47.6 中3国語48.7 数学48.1 【指導訪問での指導・助言】 R2～R6 小・中学校全23校で実施 【OKスタディ 参加者延べ人数】 R2 137名 R3 64名 R4 242名 R5 325名 R6 449名 【OKスタディ 英検対策 参加者数（合格率）】 R2 3級12名 (87.5%) 4級15名 (80.0%) R3 3級 7名 (83.3%) 4級 8名 (62.5%) R4 3級12名 (90.0%) 4級30名 (66.7%) R5 3級32名 (71.4%) 4級59名 (80.0%) R6 3級37名 (94.7%) 4級56名 (75.0%) 【土曜キッズ英会話】 R2 中止 R3 8回実施47名 R4 19回延べ434名 R5 20回実施延べ581名 R6 20回延べ363名	B	B	C	A	A	B

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
3-8	総合的な学習の時間等における外部人材の活用 (学び・心はぐくむ学校活動支援事業)	4-7- (2)	指導室	各学校で創意工夫を凝らした学習内容に合わせて、様々な教育活動で外部からの人材を活用し、学習内容の充実に努めています。	地域全体で学校教育を支援する体制づくりと、よりきめ細やかな教育活動を充実させることができた。また、コロナ禍を経て、徐々に外部人材の延べ人数が増え、児童生徒に対する専門的な指導と教員に対する資質向上の機会が増えてきた。 【外部人材活用年間延べ人件数】 R2 5, 571名 R3 6, 282名 R4 8, 001名 R5 7, 722名 R6 7, 355名	A	C	C	A	A	A
3-9	教育支援センター事業（同）	4-7- (2)	指導室	スクールカウンセラー、スクールカウンセラースーパーバイザー、スクールソーシャルワーカー、医療アドバイザー、特別支援教育専門員を配置し、これらを組織的に活用・連携させながら児童生徒の発達段階や実態に配慮し、悩みや不安の解消・問題行動の解決を図ります。	教育支援センターが窓口となり、関係機関との連携を深めながら、多様化・複雑化するこどもや保護者、学校の相談に対応することができた。また、不登校児童生徒に対して、指導員による日常的なカウンセリング等を実施することできた。 【教育支援センター相談件数】 R2 904件 R3 659件 R4 901件 R5 1, 145件 R6 1, 042件 【登校支援室来室者】 R2 29名 R3 50名 R4 52名 R5 55名 R6 50名	A	B	A	A	A	A
3-10	道徳教育の充実 (教育指導振興事業)	4-7- (2)	指導室	道徳教育は、「特別の教科 道徳」の時間を要として学校の教育活動全体で行っています。また、教科書や独自の教材を活用した「考え、議論する」道徳科の授業づくりを充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度などの道徳性を養うよう努めています。	教育研究所「道徳科」研究部会において、授業における教師の支援の在り方等について調査・研究し、成果と課題を市内全校への発信することができた。また、外部講師を招聘し、専門的な理論と実践的な指導技術を学ぶことができた。 【師範授業並びに講演会の実施】 R2 山田貞二氏、毛利豊利氏 R3 山田貞二氏、鈴木克次氏 R4 山田貞二氏、毛利豊利氏 R5 山田貞二氏、鈴木克次氏 R6 山田貞二氏	A	B	A	A	A	B
3-11	生徒指導の充実 (青少年対策事業)	4-7- (4)	指導室	各学校で、児童生徒の理解に基づき、一人ひとりの存在感を高める積極的な生徒指導を行い、各学校や関係機関が連携した対応を図っています。 生徒指導の機能を生かして、一人ひとりの自己実現が図られる指導の充実に努めるとともに、関係機関との連携強化に努めています。	小学校・中学校・高校それぞれの生徒指導担当者が集まり定期的に会議を開催することで、児童生徒を取り巻く諸問題について共有し、課題解決に向けた協議することができた。 また、児童生徒や保護者に対して、情報リテラシーの育成に関する出前授業やチラシの配布等の啓発活動を行うことができた。	B	A	A	A	A	B

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
3-12	スポーツ少年団指導者講習会のPR・勧奨 (健康・スポーツ振興事業)	4-7- (3)	生涯教育課	(財)日本スポーツ協会等主催の講習会の開催について、関係団体(体育協会加盟団体・スポーツ少年団等)に情報を提供するなど、資格取得の勧奨を行い、広い分野の指導者の充実に努めています。	スポーツ庁や(公財)北海道スポーツ協会、(公財)北海道障がい者スポーツ協会等からの講習会の案内を、適宜関係団体(スポーツ協会加盟団体・スポーツ少年団等)へ周知し、幅広い分野において情報を提供することができた。引き続き、指導者充実のため、講習会や情報共有の機会を設けられるよう本事業の周知に努める。	A	B	B	A	A	A
3-13	中学校選択制度 (小学校管理事業)	4-7- (3)	学校教育課	中学校すべての中から、子どもと保護者の希望により選択して入学することができる「学校選択制度」に取り組みます。	平成17年度から市内全域を対象に実施してきた本事業について、令和2年度、令和3年度に各中学3年生を対象に実施したアンケート調査では、制度を利用した生徒の9割以上が、選択した学校に「大変満足している」又は「満足している」と回答しており、事業継続によって新しい環境での中学校生活の実現などのニーズに応え、一定の成果が得られてきた。 しかし、生徒数の減少により学校選択が各学校に与える影響が相対的に大きくなうこと、中学校区を単位としたコミュニティ・エリア構想との整合性についての課題があることから、本事業は令和4年度入学者をもって廃止となった。	A	A	A	A	—	—
3-14	ホームページによる教育情報の公開 (教育情報システム化推進事業)	4-7- (3)	学校教育課	岩見沢市の教育活動の情報を、より多くの人に提供するサービスの向上を図るために、市ホームページ、SNS等で、公開しており、情報提供の一層の充実に努めています。	各部署の取組や行事など、幅広く積極的に情報発信に取り組んだ。 発信する情報の内容や発信する媒体の拡大など、より広く情報発信が行われるよう検討を進め、継続して情報発信を行っていく。  【フェイスブック投稿件数】 R2年度：83件、R3年度：84件、R4年度：54件、 R5年度：259件、R6年度：280件  【教育広報発刊件数】 R2年度：3回、R3年度：4回、R4年度：4回、 R5年度：4回、R6年度：3回	A	A	A	A	A	A
3-15	学校施設の計画的な整備の実施 (小学校校舎等管理事業、中学校校舎等管理事業)	4-7- (2)	学校教育課	老朽化した学校施設の改修・改築等を計画的に行う。	学校施設の改修・改築等を計画的に行ってきましたが、老朽化した施設も多いため、改修予算の確保が難しい。	B	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																						
							R2	R3	R4	R5	R6																		
3-16	いわみざわ花と緑の少年団事業 (緑の環境保全教育事業)	4-7- (3)	公園緑地環境課	花や緑を愛し、自然に親しむ心を子どものうちから育てるこにより、地域や家庭での花と緑のリーダーとして活躍する人材を育成しており、人材の拡大に努めています（小学校4~6年生対象）。	※令和5年度で事業修了  新型コロナウイルスの影響もあり、団員数の減少や中止となつた活動があつたが、概ね予定通り自然に親しむ活動を行うことができた。 【活動実績】 R2 : 16名 R3 : 15名 R4 : 7名 R5 : 8名 R6 : - (事業廃止) 【主な活動内容】 公園・森林散策、カヌー体験、冬の動物園見学研修会など	B	B	B	A	A	-																		
3-17	環境浄化モニター活動 (青少年対策事業)	4-7- (4)	指導室	小・中・高校の子どもを持つ母親を中心に選出された27名のモニターで、一般書店やコンビニエンスストア、カラオケボックス等を巡回し、青少年に悪影響を及ぼすと思われる有害な環境がなくなるよう関係業界に働きかけを行っていきます。	定期的に巡回する施設等を毎年増やし、有害環境の調査と浄化に努めることができた。また、広報誌「ふれあい」を発行し、保護者に対し、岩見沢警察署管内の補導状況やSNS上におけるトラブル事例等の今日的な課題について情報提供及び注意喚起を行うなどの啓発活動を行うことができた。	A	A	A	A	A	A																		
3-18	子ども発達支援センター (子育て総合支援センター事業)	4-7- (5)	こども未来課	発達の遅れ、または障がいのある児童とその家族が、身近な地域において適切な相談支援、及び療育を受けることができるよう、子ども発達支援センターを運営し、発達に関する相談支援体制の充実を推進していきます。	心理士が発達上の課題を持つこどもとその保護者に対し、発達支援や相談支援を行ったほか、保育所等への巡回相談等の機関支援を行い、発達に関する相談支援体制の充実を図ることができた。R6には、こども家庭センターに子ども発達支援センターと幼児ことばの教室が統合されたことにより、心理士のほか、保健師、言語聴覚士、保育士等の多職種が協働して支援する体制を構築することができた。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>巡回相談回数</td><td>57</td><td>25</td><td>21</td><td>24</td><td>-</td></tr><tr><td>支援児童数（延）</td><td>374</td><td>157</td><td>118</td><td>87</td><td>-</td></tr></table>		R2	R3	R4	R5	R6	巡回相談回数	57	25	21	24	-	支援児童数（延）	374	157	118	87	-	A	A	A	A	A	B
	R2	R3	R4	R5	R6																								
巡回相談回数	57	25	21	24	-																								
支援児童数（延）	374	157	118	87	-																								
3-19	児童心理相談員による相談 (子育て総合支援センター事業)	4-6 4-7- (5)	こども未来課	1歳6か月児健診、3歳児健診等で必要な児童には保護者の希望に応じ、発達・療育相談を隨時行っています。保護者とともに幼児の発達状況を確認し、適切な対応の仕方を助言するとともに、専門機関を紹介していきます。心理相談員の判定・助言により、母親が適切な対応が図れるよう支援していきます。  また、保健センターや教育支援センターと連携し、保育所や小学校に出向き、集団活動での対応についての助言や小学生の個別支援を行っていきます。	こどもの心理・発達・社会適応上の困難等について相談・支援を行うことができた。  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>心理士による相談件数</td><td>336</td><td>539</td><td>672</td><td>542</td><td>254</td></tr><tr><td>(内) 関係機関支援</td><td>-</td><td>57</td><td>127</td><td>148</td><td>86</td></tr></table>		R2	R3	R4	R5	R6	心理士による相談件数	336	539	672	542	254	(内) 関係機関支援	-	57	127	148	86	A	A	A	A	A	A
	R2	R3	R4	R5	R6																								
心理士による相談件数	336	539	672	542	254																								
(内) 関係機関支援	-	57	127	148	86																								

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
3-20	幼児ことばの教室 (就学前児童（言語）教育振興事業)	4-7- (5)	こども未来課	ことばの発達に障がいや課題を持つ児童の心身の健全な発達を援助し、各園、保健センターなど他機関との連携を図り、保護者や児童との関わりを大切にした指導に努めています。	ことばの発達に課題を持つ児童とその保護者を対象に言語聴覚士が通級による指導を行い、発達の支援を行うことができた。 R6には、こども家庭センターに児童ことばの教室と子ども発達支援センターが統合されたことにより、言語聴覚士が多職種が協働して支援する体制を構築することができた。	A	B	B	A	A	A
3-21	特別支援教育推進事業（同）	4-7- (5)	指導室	心身に障がいを持つ児童生徒、及び特別な教育的支援を必要とする児童生徒の自立と、社会参加に向けた教育的ニーズを把握し、適切な就学支援及び必要な支援を行っていきます。	各校の特別支援教育コーディネーターによる推進委員会において、事例検討や教育支援センターの職員の講話等により、コーディネーターの指導力向上を図ることができた。また、高校の教諭や障がい児相談事業所の職員が参加できる体制とし、学校と関係機関との連携を図ることができた。 子どもの就学先や在籍変更等について、専門的な知見のあるスタッフが一人一人のこどもと特性を多面的に見取り、適切な就学支援を行なうことができた。  【特別支援教育支援員研修】 R2～R6 年1回実施 【特別支援教育推進委員会】 R2～R5 年3回実施 R6 年5回実施 【通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒の把握のための調査】 R2 年2回 R3～R6 年3回 【就学支援委員会開催】 R2～R6 年3回実施	A	B	A	A	A	A
3-22	いわみざわチャレンジスクール (市民の学び支援事業)	4-7- (2)	生涯教育課	小中学生を対象として、休日を有意義なものとし、学習活動や体験活動を通じ、豊かな心と健やかな身体を育み、個々の「生きる力」の高揚を図りながら講座や体験学習などを継続していきます。	普段の学校教育では学ぶことができない、ものづくり・自然・文化など多様な実体験を通じて、創造力や探求心などを育むことができた。講師や他校の児童との交流を通じて、世代間交流や相互理解を深め、社会性の育成も図ることができた。  R2 6回実施 参加者96名 R3 9回実施 参加者126名 R4 13回実施 参加者213名 R5 11回実施 参加者221名 R6 11回実施 参加者290名	A	B	B	B	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																																														
							R2	R3	R4	R5	R6																																										
3-23	あそびの広場運営事業（同）	4-7- (6)	こども未来課	<p>全天候型施設「あそびの広場」を管理運営し、子どもの成長を促すとともに、安心して子育てをすることができる環境及び子どもを中心とした交流の場を提供します。</p> <p>また、こども・子育てひろば「えみふる」の核として、誰もが気軽に相談や支援を受けられる環境づくりを進めていきます。</p>	<p>計画期間の前半はコロナ禍のため、令和2～4年度の利用人数は落ち込んだが、全天候型の施設として、各種スポーツ教室などを通し、こどもの成長を促すとともに、こどもを中心とした交流の場を提供することができた。今後も利用ニーズに応じた質の高いサービスの提供に努める。</p> <p>また、こども・子育て広場「えみふる」の核施設として、こども家庭センター等と連携しながら、誰もが気軽に相談や支援を受けられる環境づくりに努める。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>18,054</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>23,240</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>40,320</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>55,072</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>55,588</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用人数	R2	18,054	R3	23,240	R4	40,320	R5	55,072	R6	55,588	A	A	A	A	A	A																														
年度	利用人数																																																				
R2	18,054																																																				
R3	23,240																																																				
R4	40,320																																																				
R5	55,072																																																				
R6	55,588																																																				
3-24	青少年育成 (青少年育成事業)	4-7- (3)	生涯教育課	<p>青少年が、将来、自らの意思で自立し、社会参加していくことができるよう、少年の主張大会や子ども会活動を実施していきます。</p> <p>また、すべての子どもが体験や学び等、様々な活動への参加を通じ、健やかな成長を育む機会の提供に努めています。</p>	<p>令和2～3年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となる事業が多かったが、感染拡大に落ち着きが見られた令和4年度以降は、感染症の対策を講じながら事業を実施することができた。</p> <p>子ども会の事業については、歴史が古く、現代のこどもの趣味嗜好に合わないものもあり、参加者を募ることが難しいものもあったが、人数が少ない場合は開催形式を変更するなど、柔軟に対応することができた。</p> <p>【R2-R6参加者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>炭鉄港ツアー</th> <th>子どもデイキャンプ</th> <th>野球大会</th> <th>かるた大会</th> <th>子ども書初大会</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>72名</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>中止</td> <td>20名</td> <td>6チーム 107名</td> <td>中止</td> <td>79名</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>31名</td> <td>23名</td> <td>5チーム 81名</td> <td>※</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15名</td> <td>23名</td> <td>3チーム 45名</td> <td>※</td> <td>49名</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>中止</td> <td>29名</td> <td>3チーム 48名</td> <td>※</td> <td>49名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出場チームが一定数を上回らなかったため、申込チームを空知大会へ推薦</p>	事業名	炭鉄港ツアー	子どもデイキャンプ	野球大会	かるた大会	子ども書初大会	年度						R2	中止	中止	中止	中止	72名	R3	中止	20名	6チーム 107名	中止	79名	R4	31名	23名	5チーム 81名	※	60名	R5	15名	23名	3チーム 45名	※	49名	R6	中止	29名	3チーム 48名	※	49名	B	B	A	A	A	B
事業名	炭鉄港ツアー	子どもデイキャンプ	野球大会	かるた大会	子ども書初大会																																																
年度																																																					
R2	中止	中止	中止	中止	72名																																																
R3	中止	20名	6チーム 107名	中止	79名																																																
R4	31名	23名	5チーム 81名	※	60名																																																
R5	15名	23名	3チーム 45名	※	49名																																																
R6	中止	29名	3チーム 48名	※	49名																																																

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																
							R2	R3	R4	R5	R6												
3-25	岩見沢市指定ごみ袋交付 (ごみ処理対策事業)	4-10- (4)	廃棄物対策課	2歳未満の乳幼児がいる世帯に対し、指定ごみ袋の交付を行っていきます。	2歳未満の乳幼児がいる世帯に対し、指定ごみ袋を無償で交付することにより、使用済みおむつの排出に係る費用負担を軽減した。今後は、負担軽減対象者の範囲の拡大をすすめていく。  【交付対象者】 R2 414人 R3 375人 R4 339人 R5 361人 R6 319人	A	A	A	A	A	A												
3-26	環境学習事業 (ごみ減量化推進事業)	4-7- (3)	廃棄物対策課	小学校・中学校に対する、ごみ・環境の出前教室やごみ処理場などの見学を行い、環境についての理解を深めていきます。	環境教育を通じ、ごみの分別等の意識向上を図った。今後も、環境教育により減量化・資源化の推進を継続する。  【出前講座】 R2 3件 95人 R3 4件 153人 R4 3件 147人 R5 2件 77人 R6 0件 0人  【施設見学】 R2 13件 488人 R3 13件 337人 R4 10件 458人 R5 21件 515人 R6 15件 480人	B	A	A	A	A	B												
3-27	成長記録ファイルの普及事業 (子育て総合支援センター事業)	4-7- (5)	こども未来課	発達に心配のある子どもが、各ライフステージにおいて、切れ目ない一貫した支援が受けられるよう、子どもの成長と発達に関する記録等を保管する「えみふるふあいる」を作成・配布するとともに、普及・啓発を行います。	子どもの情報を一つにまとめることで、各家庭と関係機関、支援者が情報を共有したり、連携がスムーズに行える「えみふるふあいる」の普及、啓発に努めたが、関係機関の認知度や活用への意欲にはまだ差があり、今後も活用について推進していく。  <table border="1" data-bbox="1773 1793 2396 1882"><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>配布数</td><td>431</td><td>510</td><td>463</td><td>364</td><td>456</td></tr></table>		R2	R3	R4	R5	R6	配布数	431	510	463	364	456	A	A	A	A	A	A
	R2	R3	R4	R5	R6																		
配布数	431	510	463	364	456																		

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
3-28	こどもサポート「うずら」 (子育て総合支援センター事業)	4-7- (5)	こども未来課	発達の遅れが見られる幼児とその保護者に対し、専門職と一緒に成長や発達の状況を確認・共有できる集団の場を提供し、療育支援の活用に関する情報提供や保護者の不安軽減などの助言指導を行います。	療育支援教室として実施してきたが、保護者の就労、早期就園、療育機関の充実等により、利用児童数が減少したため、令和5年度で集団の場の提供を終了した。実施においては、療育支援の活用に関する情報提供や保護者の不安軽減など必要な支援を行うことができた。	A	A	A	A	A	-
3-29	情報モラル教室の実施 (学び・心はぐくむ学校活動支援事業)	4-7- (2)	指導室	各学校において外部講師を招聘して情報モラル教室を実施し、コミュニティサイトやSNS等の不適切な利用による犯罪等の被害やインターネット上のいじめ等のトラブルを未然に防止します。	すべての市立学校において、本事業内容を踏まえた授業等を年間指導に位置づけて実施した。また、コロナ禍を経て、徐々に専門家による出前授業が増え、児童生徒に対する専門的な指導と教員に対する資質向上の機会が増えてきた。 【情報モラル教室実施率】 R2 小学低学年 50% 中学年86% 中学校100% R3 小学低学年 35% 中学年79% 中学校100% R4 小学校100% 中学校100% 高校100% R5 小学校100% 中学校100% 高校100% うち、外部講師の招聘 小学校7校 中学校7校 高校1校 R6 小学校100% 中学校100% 高校100% うち、外部講師の招聘 小学校11校 中学校6校 高校1校	A	A	B	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																																																																																												
							R2	R3	R4	R5	R6																																																																																								
3-30	家庭教育事業 (市民の学び支援事業)	4-7- (3)	生涯教育課	0歳児から2・3歳児の発育段階に対応した家庭教育学級、地域家庭教育事業及び育児サークルへの支援や保護者への育児支援を行っていきます。 家庭教育の重要性が増す中で、家庭教育に関する基礎理解や心身の発達の特徴及び健やかな成長のための家庭教育のあり方について専門的な講師を招いて事業を展開していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 0歳児学級、2・3歳児学級 0歳～3歳までの親子を対象に、専門の講師を招き、家庭教育に関する基礎知識や心身の発達の特徴を理解する学習機会を提供することができた。また、人格の土台が形成される時期と言われている、0歳～3歳までのこどもに読み聞かせを行うなど、こどもの情緒安定や集中力の向上に寄与することができた。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">0歳児学級</th><th colspan="2">2・3歳児学級</th></tr> <tr> <th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td><td>2</td><td>20</td><td>2</td><td>24</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>2</td><td>12</td><td>2</td><td>9</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>2</td><td>12</td><td>2</td><td>22</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>2</td><td>27</td><td>14</td><td>179</td></tr> <tr> <td>R6</td><td>2</td><td>32</td><td>2</td><td>36</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導者育成講座、指導者活用講座 指導者育成講座を開催し、家庭教育に関する専門的な理論や技法について学び、身近な地域で家庭教育の指導や子育て支援ができる指導者を育成するための実践的な研修会を実施することができた。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">家庭教育指導者育成講座</th><th colspan="2">家庭教育指導者活用講座</th></tr> <tr> <th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td><td>1</td><td>10</td><td>2</td><td>21</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>1</td><td>14</td><td>3</td><td>8</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>1</td><td>15</td><td>4</td><td>73</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>1</td><td>12</td><td>3</td><td>27</td></tr> <tr> <td>R6</td><td>1</td><td>11</td><td>4</td><td>61</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 育児サークルサポート事業 こどもを持つ保護者で結成された育児サークルの活動を支援した。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">育児サークルサポート事業</th></tr> <tr> <th>回数</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td><td>8</td><td>70</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>10</td><td>15</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>11</td><td>155</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>12</td><td>406</td></tr> <tr> <td>R6</td><td>12</td><td>92</td></tr> </tbody> </table>	年度	0歳児学級		2・3歳児学級		回数	人数	回数	人数	R2	2	20	2	24	R3	2	12	2	9	R4	2	12	2	22	R5	2	27	14	179	R6	2	32	2	36	年度	家庭教育指導者育成講座		家庭教育指導者活用講座		回数	人数	回数	人数	R2	1	10	2	21	R3	1	14	3	8	R4	1	15	4	73	R5	1	12	3	27	R6	1	11	4	61	年度	育児サークルサポート事業		回数	人数	R2	8	70	R3	10	15	R4	11	155	R5	12	406	R6	12	92	A	B	B	B	A	A
年度	0歳児学級		2・3歳児学級																																																																																																
	回数	人数	回数	人数																																																																																															
R2	2	20	2	24																																																																																															
R3	2	12	2	9																																																																																															
R4	2	12	2	22																																																																																															
R5	2	27	14	179																																																																																															
R6	2	32	2	36																																																																																															
年度	家庭教育指導者育成講座		家庭教育指導者活用講座																																																																																																
	回数	人数	回数	人数																																																																																															
R2	1	10	2	21																																																																																															
R3	1	14	3	8																																																																																															
R4	1	15	4	73																																																																																															
R5	1	12	3	27																																																																																															
R6	1	11	4	61																																																																																															
年度	育児サークルサポート事業																																																																																																		
	回数	人数																																																																																																	
R2	8	70																																																																																																	
R3	10	15																																																																																																	
R4	11	155																																																																																																	
R5	12	406																																																																																																	
R6	12	92																																																																																																	
4-1	街頭補導活動事業 (青少年対策事業)	4-8- (4)	指導室	青少年の非行防止のため、地域での取り組みを支援していくとともに、家庭、地域の協力を得ながら関係機関と連携して巡回等を行っていきます。 また、青少年センターによる街頭補導活動、学校の長期休業日や祭典時の特別街頭補導を行い、非行防止活動の充実を推進していきます。	青少年センターが中心となり警察署や学校、地域、補導員連絡協議会と連携を図り、平常補導、夜間補導のほか、学校長期休業期間や市内イベント等に合わせて行う特別補導を定期的に行い、青少年の問題行動の早期発見と予防に努めることができた。 また、毎年、新任の補導員等を対象に補導員研修会を開催し、活動の目的や具体について共通理解を図ることができた。	A	A	A	A	A	A																																																																																								

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
4-2	公共構築物のユニバーサルデザインの推進 (市営住宅建設事業ほか)	4-8- (3)	建築課	新たに建設される公共建築物については、多目的トイレを設置しています。施設によりトイレ内にベビーシートを設けたり、女性用トイレにも小児用小便器を設置するなど、整備を図っていきます。	計画期間中、栗沢市民センター新築工事における多目的トイレと授乳室内のベビーベッド等の整備、北村温泉改修工事における多目的トイレの整備を実施した。新たに建設される公共建築物については、今後も公共構築物のユニバーサルデザインを推進する。	B	A	B	B	B	B
4-3	公園トイレ整備 (公園管理事業)	4-8- (3)	公園緑地環境課	子どもからお年寄りまですべての人が安全・安心して利用できるように、トイレの洋式化を行っていきます。	トイレの洋式化を、9公園9基において実施した。 【整備実績】 R2 : 2公園2基 R3 : 1公園1基 R4 : 1公園1基 R5 : 3公園3基 R6 : 2公園2基	A	A	B	B	A	A
4-4	子どもの遊び場整備 (公園造成事業)	4-7- (6)	公園緑地環境課	都市公園を子どもやお年寄りはもちろん、障がいのある方も利用しやすいよう、地域住民の意見を取り入れた整備を進めており、小規模公園も視野に入れながら整備に努めています。	岩見沢市公園施設長寿命化計画に則り公園施設の改築更新を実施した。 【整備実績】 R2 : 10公園 R3 : 6公園 R4 : 6公園 R5 : 8公園 R6 : 7公園	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

«評価の基準»

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価																																																																
							R2	R3	R4	R5	R6																																																												
4-5	ワーク・ライフ・バランスの推進 (男女共同参画社会推進事業)	4-8- (1)	市民連携室	育児・介護をしながら働き続けることができるよう、ワーク・ライフ・バランスに関する意識の啓発や、両立支援に関する各制度の情報提供に努めています。	<p>計画期間中、新型コロナウイルス感染症防止により市民フォーラムやステップアップ講座等の各種事業の開催ができなかった年度があったものの、いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議との協働により、継続した事業実施及び意識啓発を行うことができた。今後も意識啓発のため、各事業の継続実施や情報周知に努める。</p> <p>【各種事業の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>川柳コンテスト (大賞1名、入選5名)</th> <th>市民フォーラム</th> <th>ステップアップ講座</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> <th>作品数</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>開催回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>17</td> <td>49</td> <td>中止</td> <td></td> <td></td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>31</td> <td>88</td> <td>R3.12.4 (土)</td> <td>67</td> <td></td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>36</td> <td>100</td> <td>R4.6.26 (日)</td> <td>80</td> <td>2</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>29</td> <td>76</td> <td>R5.6.25 (日)</td> <td>70</td> <td>2</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>33</td> <td>85</td> <td>R6.6.29 (日)</td> <td>70</td> <td>2</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>【情報周知の実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>情報周知方法</th> <th>実施年度及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報誌「ア・ライク」の発行</td> <td>R2～R5 6,500部、R6 5,500部</td> </tr> <tr> <td>展示啓発会場</td> <td>R2～R6実施 (イオン岩見沢店、あえーる、市役所)</td> </tr> <tr> <td>関係書籍展示</td> <td>R4～R6実施 (市立図書館)</td> </tr> <tr> <td>FMはまなすラジオ出演</td> <td>R2～R4実施 各年度1回</td> </tr> <tr> <td>広報いわみざわ準特集記事掲載</td> <td>R2～R6実施 各年度1回</td> </tr> <tr> <td>デジタルサイネージ掲載</td> <td>R4～R6実施 各年度1回</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	川柳コンテスト (大賞1名、入選5名)	市民フォーラム	ステップアップ講座	年度	人数	作品数	開催日	参加者数	開催回数	参加者数	R2	17	49	中止			中止	R3	31	88	R3.12.4 (土)	67		中止	R4	36	100	R4.6.26 (日)	80	2	47	R5	29	76	R5.6.25 (日)	70	2	32	R6	33	85	R6.6.29 (日)	70	2	55	情報周知方法	実施年度及び内容	情報誌「ア・ライク」の発行	R2～R5 6,500部、R6 5,500部	展示啓発会場	R2～R6実施 (イオン岩見沢店、あえーる、市役所)	関係書籍展示	R4～R6実施 (市立図書館)	FMはまなすラジオ出演	R2～R4実施 各年度1回	広報いわみざわ準特集記事掲載	R2～R6実施 各年度1回	デジタルサイネージ掲載	R4～R6実施 各年度1回	A	B	B	A	A	A
事業名	川柳コンテスト (大賞1名、入選5名)	市民フォーラム	ステップアップ講座																																																																				
年度	人数	作品数	開催日	参加者数	開催回数	参加者数																																																																	
R2	17	49	中止			中止																																																																	
R3	31	88	R3.12.4 (土)	67		中止																																																																	
R4	36	100	R4.6.26 (日)	80	2	47																																																																	
R5	29	76	R5.6.25 (日)	70	2	32																																																																	
R6	33	85	R6.6.29 (日)	70	2	55																																																																	
情報周知方法	実施年度及び内容																																																																						
情報誌「ア・ライク」の発行	R2～R5 6,500部、R6 5,500部																																																																						
展示啓発会場	R2～R6実施 (イオン岩見沢店、あえーる、市役所)																																																																						
関係書籍展示	R4～R6実施 (市立図書館)																																																																						
FMはまなすラジオ出演	R2～R4実施 各年度1回																																																																						
広報いわみざわ準特集記事掲載	R2～R6実施 各年度1回																																																																						
デジタルサイネージ掲載	R4～R6実施 各年度1回																																																																						
4-6	交通安全教室 (交通安全対策事業)	4-8- (4)	市民連携室	模擬信号機や自転車を使った参加・体験・実践型の交通安全教室を行っており、警察署をはじめとした関係機関の協力により、内容の充実に努めています。	<p>計画期間中、関係機関と協力し、毎年、各世代に合わせた交通安全教室を開催することができた。引き続き、教室の開催を通じて交通安全意識の向上に努める。</p> <p>【教室回数及び延べ参加人数】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>18回</td> <td>1,200人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>29回</td> <td>2,856人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>47回</td> <td>3,879人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>48回</td> <td>3,615人</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>46回</td> <td>3,748人</td> </tr> </tbody> </table>	R2	18回	1,200人	R3	29回	2,856人	R4	47回	3,879人	R5	48回	3,615人	R6	46回	3,748人	A	B	B	A	A	A																																													
R2	18回	1,200人																																																																					
R3	29回	2,856人																																																																					
R4	47回	3,879人																																																																					
R5	48回	3,615人																																																																					
R6	46回	3,748人																																																																					

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
4-7	民間における交通安全の確保 (交通安全対策事業)	4-8- (4)	民間実施 市民連携室	民間団体において行っている紙芝居による交通安全教育等と連携を取りながら子どもの交通安全対策を進めていきます。	計画期間中、民間団体での紙芝居による交通安全教育について開催要望はなく、実施実績がなかったが、毎年自転車事故防止の街頭啓発や新入学児童へのマスク配布などを実施し、交通安全活動を推進した。 実績から、今後の紙芝居による交通安全教育の実施は難しいと考えるが、様々な機会を通じ、子どもの交通安全対策の推進に努める。	B	B	B	B	B	B
4-8	市防犯協会への支援 (市民の安全と安心を高める推進事業)	4-8- (4)	市民連携室	地域の実態に即した安全活動の推進、広報啓発活動の推進等、市防犯協会が行う防犯活動の支援をしていきます。	計画期間中、関係機関と協力し、毎年、各世代に合わせた交通安全教室を開催することができた。 引き続き、教室の開催を通じて交通安全意識の向上に努める。  【教室回数及び延べ参加人数】 R2 18回 1,200人 R3 29回 2,856人 R4 47回 3,879人 R5 48回 3,615人 R6 46回 3,748人	A	A	A	A	A	A
4-9	街路灯の維持管理と新設・敷設替の支援 (町会等管理街路灯維持支援事業)	4-8- (4)	土木課・ 市民連携室	市が管理する街路灯については、新設、更新、修繕を計画的に進めるとともに、LED化によりLCCの縮減を図りながら、適切に管理していきます。 また、町内会が管理する街路灯に対しても、新設及び敷設替等維持管理に係る費用を支援することにより、夜間における道路交通の安全確保と防犯対策を行っていきます。	(土木課) 新設及び修繕基數 LED化基數 R2 62基 129基 R3 44基 123基 R4 35基 131基 R5 16基 92基 R6 21基 0基  (市民連携室) 町会が管理する街路灯は、計画期間中にLED化が進み、維持管理費の節減が図られ、夜間における安全確保と防犯対策に努めることができた。 引き続き、街路灯の新設・維持管理費用の支援を行う。 【LED化率】 R2 92.69% R3 93.52% R4 94.00% R5 94.31% R6 94.75%	B	A	A	A	A	B

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
4-10	防犯啓発活動 (市民の安全と安心を高める推進事業)	4-8- (4)	市民連携室	防犯対策として、新入学児童への防犯グッズの配布や街頭での啓発活動を行っており、今後も推進していきます。防犯旗については希望する町会に、また、訪問販売防止ステッカーや振り込め詐欺防止シールを、希望者に配布していきます。 また、子どもが自ら身を守るために防犯研修に取り組んでいきます。	計画期間中、新入学児童への防犯グッズ配布や金融機関・商業施設での啓発活動等を実施したほか、防犯メール等による注意喚起、防犯カルタ大会、町会等への防犯旗の配布等、防犯対策を推進することができた。 引き続き、各種啓発活動を実施する。	A	A	A	A	A	A
4-11	児童見守りシステム推進事業（同）	4-8- (4)	指導室	すべての小学生の希望家庭を対象に児童見守りサービスを実施し、登下校の安全・安心確保を図っています。 また、全小中学生の希望家庭向けに不審者者情報等の一斉同報サービスを含めた見守りシステムにて児童生徒の安全・安心確保の注意喚起を行っています。	本事業の取組を通じて、児童生徒の安全・安心につなげることができた。また、注意喚起以外にも、旅行的行事の様子の報告、中体連の結果の速報等にも積極的に活用できた。 【児童見守りシステムICタグ普及率】 R2 98% R3 99% R4 99% R5 99% R6 99% 【一斉同報メールサービス利用率】 R2 98% R3 99% R4 97% R5 98% R6 98%	A	A	A	B	A	A
4-12	子育て支援住宅 (市営住宅建設事業)	4-8- (2)	建築課	市営住宅の整備に当たって、未就学児童を含む3人以上の世帯で、当該未就学児が中学校を卒業するまでの子育て中の家庭を対象に、特定住戸として「子育て支援住宅」を提供します。 また、児童館や地域親子ひろばなどを拠点とした交流事業や子育て支援サービス等との連携も視野に子育てしやすい住環境整備に取り組んでいきます。	計画期間中に「子育て支援住宅」の新たな整備・計画がなかったため一部成果を得られないものがあったが、引き続き子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくりに努める。	B	A	B	B	B	B
4-13	住宅購入支援助成金 (移住定住促進事業)	4-8- (2)	企画室	市内に移住・転入する子育て世帯が、新築又は中古住宅を初めて購入する際に、土地・建物の購入及び改修費用に関する資金を助成します。	計画期間中の14歳以下のこどもやその親世代に相当する30代において社会増となるなど、本事業が社会動態の改善に一定の成果を上げていると評価できる。 一方で、財政負担の増大や移住者のみに特化した事業であることから、今後は市のもつ優位性や強みをプラスアップし、それを市内外に効果的に発信することにより、市を住む場所として、「選択してもらう」「住み続けてもらう」取組みを進めていくこととし、本事業はR6年度をもって終了。 【住宅購入支援助成金実績（子育て加算世帯抜粋）】 R2年度：34世帯（世帯員128人） R3年度：33世帯（世帯員115人） R4年度：21世帯（世帯員71人） R5年度：21世帯（世帯員75人） R6年度：10世帯（世帯員42人）	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
5-1	チャイルドホットライン (子育て総合支援センター事業)	4-9- (3)	こども未来課	岩見沢市、消防署、病院はもとより、児童相談所や警察署等子どもに関係する機関が連携して、児童虐待防止などの対応を行っていきます。 定期的に岩見沢市子育て支援推進会議（要保護児童対策地域協議会）を開催するなど、関係機関とのネットワークの強化を図るとともに、個別ケース検討会議を開催し、課題解決に向け、情報の共有と支援の円滑な推進に取り組んでいきます。	要保護児童については、学校や保育所等との情報共有を定期的に行い、日常生活の把握に努め、変化を見逃さず、早急に対応することができた。必要に応じて、個別ケース検討会議を開催し、支援策の検討を行った。 今後も家庭・児童相談において、要保護児童の把握を行い、関係機関と効果的な連携を図りながら、必要に応じて支援策の検討を行い、児童虐待防止に努める。	A	A	A	A	A	A
5-2	児童虐待早期発見事業 (母子保健推進事業)	4-4- (5) 4-9- (3)	こども未来課	妊娠届出時から乳幼児健診までの問診項目で生活・子育て環境を把握し、早期支援を行っていきます。 支援の必要な保護者の早期発見、早期支援に結びつくための事業を進めていきます。	妊娠届出時や妊婦面談、乳幼児健診時に全員にアンケートを実施し、生活・子育て環境、育児状況等を把握し、健やかな親子関係が形成されるよう育児不安及び負担感への対応に重点をおいた相談支援及び社会資源の紹介等を行うことで、虐待の早期発見、予防に努めた。	A	A	A	A	A	A
5-3	特別育児支援ヘルパー事業 (こども・子育て応援事業)	4-9- (3)	こども未来課	岩見沢市子育て支援推進会議において要支援児童と認める児童がいる家庭にヘルパーを派遣し、家事及び育児の支援を行うことにより、子育て家庭の身体的及び精神的負担を軽減し、保護者の養育の支援に資するとともに、児童の見守りを行います。	要保護児童対策地域協議会においてヘルパーの派遣が必要と認められた家庭においては、回数の制限なくヘルパーを派遣し、家事及び育児の支援を行うことで、子育て家庭の負担を軽減し、保護者の養育やヤングケアラーの支援に資することができた。	A	A	A	A	A	A
5-4	児童虐待防止の学習会による ネットワークづくり	4-9- (3)	こども未来課	子どもと直接関わる専門職間の児童虐待に対する問題意識を共有するため、学習機会を設けることを検討します。	こどもと直接関わる専門職間の児童虐待に対する問題意識の共有と早期発見、早期対応を図るための学習会の開催は、コロナ禍とも重なり実施に至らなかった。	D	D	D	D	D	D

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
6-1	母子・父子自立支援員配置 (ひとり親家庭支援事業)	4-10- (4)	こども未来課	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭及び寡婦家庭の相談、自立に必要な情報提供や指導及びそれらの家庭に対し職業能力の向上や、求職活動に関する支援を行っていきます。 相談内容は、子育て、生活、就労、養育費の確保など幅広く、また、必要な情報提供や各種施策の活用について、きめ細かい対応に努めています。	ひとり親家庭等の相談に対応し、自立に向けた各種サービスや制度を紹介することができた。 引き続き、支援を必要とするひとり親等に有益な情報を提供できるよう、各部署やハローワーク、振興局と連携し情報の収集及び提供に努める。	A	A	A	A	A	A
6-2	生活困窮者自立支援 (生活困窮者自立促進支援事業)	4-10- (4)	保護課	子どもを持つ、生活に困窮する家庭がこれ以上の困窮状態に陥らないよう、相談を受付け、就労に向けた支援などを行っています。	計画期間中、子どもを持つ世帯からの相談に対し、各家庭の状況に応じて支援を行うことができた。本事業により就労を開始した世帯は5.4%となっている。 【全相談件数】 R2年度 86名（うち就労開始7名） R3年度 92名（うち就労開始2名） R4年度 43名（うち就労開始5名） R5年度 60名（うち就労開始3名） R6年度 72名（うち就労開始2名） 合計 353名（うち就労開始19名）	A	A	A	A	A	A
6-3	生活困窮者学習支援 (生活困窮者自立促進支援事業)	4-10- (4)	保護課	経済的な理由で塾などに通えない中学生に、放課後の学習機会を提供していきます。	令和4年度から準要保護世帯を対象世帯に加えたため、参加人数が増加した。 計画期間中継続した学習機会の提供により、参加した中学3年生全員の高校の進学に寄与した。 【参加者数】 R2年度 6人（うち中学3年生参加者なし） R3年度 3人（うち中学3年生1人参加） R4年度 17人（うち中学3年生3人参加） R5年度 21人（うち中学3年生6人参加） R6年度 18人（うち中学3年生3人参加） 合計 65人（うち中学3年生13名参加）	B	B	B	A	A	B
6-4	実費徴収に係る補足給付を行う事業	4-4- (12)	こども未来課	幼稚園や保育所等を利用している生活保護世帯等の子どもで保護者が支払うべき教材費、行事費等の実費徴収に係る費用の一部を負担し、子どもの健やかな成長を支援します。	助成対象者が非常に限定的になってしまうことから、事業実施の見送った。今後も状況を確認しながら実施を検討していく。	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

«評価の基準»

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
6-5	S・Eスタディに対する支援 (スクールバス運行管理事業)	4-10- (4)	指導室、 学校教育課	経済的な負担なく無料学習会（土曜・英検学習会）に参加することができるよう、所得に関係なく生徒が移動できる方法を検討します。	本事業の利用についてはコロナ禍による影響が大きく、令和2年度は前年度から約4割、令和3年度は前年度から約5割の利用が減少し、事業の継続実施手法について検討を要する状況となった。令和4年度からは、対面での学習会に加えてオンデマンド配信も実施したことにより利用者が増加。また、コロナ禍における経験も踏まえ、より充実した事業の展開を図るため、令和5年8月よりオンデマンドによる個別の学び塾（OKスタディ）へ講義内容や実施形態を変更したことに伴い、生徒の移動手段の確保を目的とする本事業は令和4年度をもって廃止となった。  【バス利用申込者数】 幌向方面 (上幌向経由) 北村方面 (緑経由) 栗沢方面 (清園経由) R2 11名 10名 22名 R3 3名 8名 6名 R4 16名 20名 10名	B	B	C	A	—	—
6-6	地域子ども体験活動補助金 (青少年育成事業)	4-10- (4)	生涯教育課	子どもを対象とする体験活動を支援するとともに、担い手の育成を検討します。	こどもたちがより多様な体験を通じて社会性や自己肯定感、コミュニケーション能力を育み、地域に根ざした遊びや体験の環境づくりができた。また、補助金による支援の結果、各団体においても地域・ボランティア・企業との連携が強化され、持続的な活動基盤を形成することもできた。  【補助金交付団体数及び交付額】 R2 5団体 交付額500,000円 R3 7団体 交付額439,410円 R4 7団体 交付額500,000円 R5 6団体 交付額460,000円 R6 6団体 交付額591,902円	A	A	A	A	A	A
6-7	母子家庭等自立支援給付金、ひとり親家庭児童修学援助金（ひとり親家庭支援事業）	4-10- (4)	こども未来課	ひとり親家庭の生活の安定と児童の健全育成に結びつくよう、各種給付金・援助金を支給して、ひとり親家庭の経済的自立を支援します。  ●母子家庭等自立支援給付金 指定講座受講又は養成機関で資格取得を目指すひとり親に給付金を支給します。 ●ひとり親家庭児童修学援助金 来春学校卒業を迎えるひとり親家庭の児童に修学援助金を支給します。	経済的な自立が厳しいひとり親等の世帯で、資格取得による世帯収入の増を見込める制度であり、引き続き、必要なひとり親家庭等に周知をし、利用を促進する。  【高等職業訓練促進給付金受給者】 R2 9人 R3 13人 R4 16人 R5 11人 R6 8人  【ひとり親家庭児童修学援助金受給者数】 R2 25人 R3 33人 R4 25人 R5 25人	A	A	A	A	A	A

## 第2期 岩見沢市子ども・子育てプラン対象事業評価調査票

### 『評価の基準』

A : 計画通りの成果を得られた

C : 計画通りに事業が遂行できなかった

B : 一部成果を得られないものもあった

D : 事業に着手できなかった

No.	事業名 (事務事業名)	章・節	担当課	事業内容	第2期子ども・子育てプラン（総括）評価	評価	5年間の事業評価				
							R2	R3	R4	R5	R6
6-8	小中学校就学援助事業（同）	4-10-(4)	学校教育課	学校教育法第19条に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行います。	計画期間中における本事業の認定者は、14～15%程度であり、事業実施体制の整備及び事業の周知により、経済的援助を要する世帯に対して周知し、利用につなげることができた。 引き続き、利用を必要とする世帯に対して必要な情報が届くよう、本事業の周知に努める。  【認定者数】 R2 小学校491人 中学校271人 R3 小学校454人 中学校250人 R4 小学校434人 中学校274人 R5 小学校455人 中学校274人 R6 小学校413人 中学校256人	A	A	A	A	A	A
6-9	特別支援教育振興事業	4-10-(4)	学校教育課	特別支援学級等に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため、学用品費や通学費等の援助を行います。	計画期間中における本事業の認定者は、50%前後で推移しており、事業実施体制の整備及び事業の周知により、経済的負担の軽減を要する世帯に対して周知し、利用につなげることができた。 引き続き、利用を必要とする世帯に対して必要な情報が届くよう、本事業の周知に努める。  【認定者数】 R2 小学校96人 中学校29人 R3 小学校60人 中学校24人 R4 小学校85人 中学校19人 R5 小学校80人 中学校33人 R6 小学校97人 中学校30人	A	A	A	A	A	A